MITSUBISHI

三菱液晶ディスプレイ

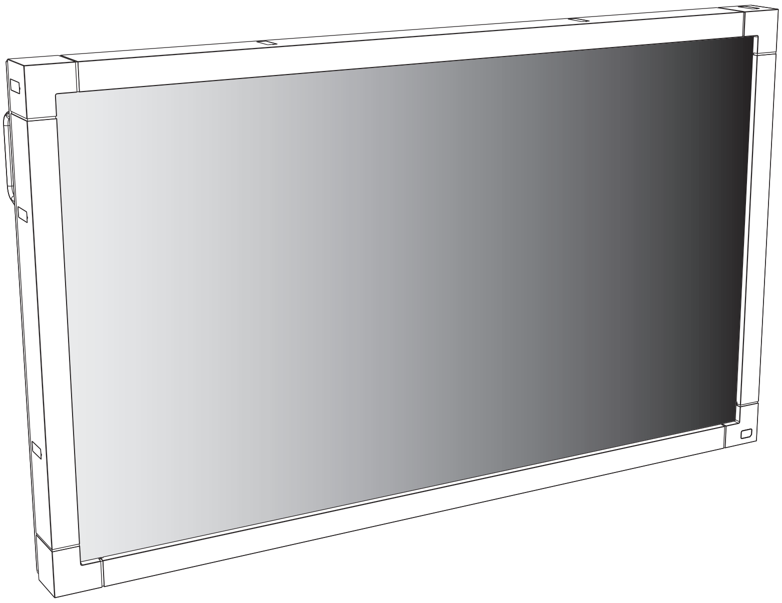
VISEO LITE

形名

LDT462V

(BL109)

取扱説明書



P2 もくじ

P3 ご使用の前に

P7 安全のために必ずお守りください

P12 使用上のお願い

P13 各部のはたらき

P17 使用の準備

P32 使用方法

P46 機能

P61 困ったとき

P64 仕様

P65 重要なお知らせ

P67 さくいん

■ この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に「安全のために必ずお守りください」は、液晶ディスプレイをご使用の前に必ず読んで正しくお使いください。

■ 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

■ 取扱説明書は「保証書」と共に大切に保管してください。

■ 必ず、転倒・落下防止処置を実施してください。 →P9、P18、P19 参照

「ディスプレイ」のホームページ：www.MitsubishiElectric.co.jp/display
INTERNET INFORMATION & DOWNLOADS SERVICE

もくじ

ご使用の前に

ご使用の前に ・・・ 3
特　長 ・・・ 3
付属品の確認 ・・・ 5
本書の見かた ・・・ 6

安全のために必ずお守りください

安全のために必ずお守りください ・・・ 7

使用上のお願い

使用上のお願い ・・・ 12
液晶ディスプレイの上手な使い方 ・・・ 12

各部のはたらき

各部のはたらき ・・・ 13
本体の操作ボタン・スイッチ・ランプ ・・・ 13
本体背面の入出力コネクター ・・・ 14
リモコン ・・・ 15
リモコンの取り扱い ・・・ 16

使用の準備

使用の準備 ・・・ 17
使用するための流れ ・・・ 17
[準備 1]　設置する前に ・・・ 18
設置条件 ・・・ 18
通気の確保と使用環境温度 ・・・ 18
転倒防止 ・・・ 18
[準備 2]　設置する ・・・ 19
専用スタンドを取り付ける ・・・ 19
壁掛けや天吊りで使用する ・・・ 19
縦置きに設置する ・・・ 20
主電源スイッチカバーを取り付ける ・・・ 20
[準備 3]　外部スピーカー（市販）を接続する ・・・ 21
[準備 4]　外部機器を接続する ・・・ 22
簡単接続図 ・・・ 22
HDMI ケーブルの脱落防止 ・・・ 22
コンピューターを接続する（アナログ接続） ・・・ 23
コンピューターを接続する（デジタル接続） ・・・ 24
ビデオ機器（コンポーネントビデオ／ HDMI 機器）を接続する ・・・ 25
ビデオ機器（コンポジットビデオ／ S ビデオ機器）／ステレオアンプを接続する ・・・ 26
[準備 5]　拡張モジュールを取り付ける ・・・ 27
拡張モジュールを取り付ける ・・・ 27
SDI で長距離接続や複数接続をする ・・・ 27
OPS 対応コンピューターを装着する ・・・ 28
[準備 6]　RS-232C を接続する ・・・ 29
RS-232C を接続する ・・・ 29
[準備 7]　LAN を接続する ・・・ 30
LAN を接続する ・・・ 30
[準備 8]　電源コードを本機に接続する ・・・ 31
電源を接続する ・・・ 31
[準備 9]　電源プラグのアース線を接続する ・・・ 31
[準備 10] 電源プラグを AC100 V 電源コンセントに接続する ・・・ 31

使用方法

使用方法 ・・・ 32
使用方法の流れ ・・・ 32
[使用 1]　すべての機器の電源を「入」にする ・・・ 33
外部機器の電源を入れる ・・・ 33
本機の電源を入れる ・・・ 33
パワーマネージメント機能 ・・・ 34
[使用 2]　映像入力を選択する ・・・ 35
[使用 3]　外部機器を操作する ・・・ 36
[使用 4]　言語を選択する ・・・ 36
[使用 5]　オートセットアップをする ・・・ 37
[使用 6]　ピクチャーモードを選択する ・・・ 38
[使用 7]　画面を調節する ・・・ 38
[使用 8]　映像を調節する ・・・ 39
[使用 9]　スピーカーを選択する ・・・ 39
[使用 10] 音量、バランスや音質を調節する ・・・ 40
[使用 11] スケジュールを設定する ・・・ 41
スケジュールの設定・操作方法について ・・・ 42
[使用 12] 通信制御をする ・・・ 43
RS-232C リモートコントロールについて ・・・ 43
LAN リモートコントロールについて ・・・ 45

機能

OSD 画面の構成と基本操作 ・・・ 46
OSD 画面の構成 ・・・ 46
OSD の基本操作 ・・・ 47
OSD 画面と機能 ・・・ 48
その他の機能 ・・・ 57
ピクチャーサイズ ・・・ 57
ピクチャーモード ・・・ 57
コントロールロックモード ・・・ 57
インフォメーション OSD ・・・ 57
音声入力切替 ・・・ 58
PIP、POP 機能 ・・・ 59
リモコンナンバリング機能 ・・・ 60

困ったとき

困ったとき ・・・ 61
故障かな？と思ったら ・・・ 61
コンピューターを使うとき ・・・ 62
拡張モジュールを装着しているとき ・・・ 63

仕様

仕様 ・・・ 64

重要なお知らせ

重要なお知らせ ・・・ 65
保証とアフターサービス ・・・ 65
個人情報の取り扱い ・・・ 65
本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報） ・・・ 66
長くご使用いただくために ・・・ 66

さくいん

さくいん ・・・ 67

ご使用の前に

特　長

各種コンテンツやメッセージを鮮明に伝える、高画質液晶パネルを採用

フル HD パネル

フル HD（1920 × 1080）映像を忠実に Dot by Dot 表示 → P64

小さな文字や細密な映像もクッキリ表示する高精細な 1920×1080 フル HD 表示を実現します。ハイビジョンの最高解像度 1080p の映像も Dot by Dot で忠実に映し出すことができます。

業務用途に合わせた表示機能が充実。多様化する用途に適したシステム構築をサポート

タイリング

スムーズにつながる高精度なマルチスクリーン表示 → P56

最大で縦 5 × 横 5 = 25 面のマルチスクリーン表示ができます。しかも、FRAME COMP 機能により、ベゼルで途切れる部分を補正し、スムーズにつながる表示を実現します。

デュアルピクチャー

親子画面の様々な配置を選べる 2 画面表示機能 → P15、P51、P59

多彩な 2 画面表示機能を搭載していますので、親画面の中に子画面を表示する PIP や、子画面を外側に表示する POP、画面を 2 分割して横に並べる Side by Side での表示ができます。

デジタルズーム

4：3 の映像を 16：9 に伸張表示するズームモードを搭載 → P50

多彩なズームモードを搭載し、アスペクト比4:3の映像を16:9に伸張表示できます。また、画面中央と外側で伸張比率を変えて、自然なワイド表示にできるダイナミック表示も選択できます。さらに、入力された信号の画像サイズに対し、対角比率、水平方向、垂直方向に自在な調節をおこなえます。

オプションスロットを装備し、用途に合わせた拡張モジュールを装着可能

オプションスロット

Intel 社が提唱する OPS 規格準拠のスロットを装備 → P14

Intel OPS 規格に準拠した拡張モジュールを本機に搭載できます。OPS 規格に準拠した拡張モジュールを装着することにより、使用シーンに応じた機能の拡張が図れます。

SDI 接続機能（オプション）

3G-SDI 対応の BNC ケーブルで放送機器とデジタル接続 → P27

SDIの3G規格に準拠し、フルHD（1920×1080）60 フレームのプログレッシブ映像信号をデジタル伝送します。最長 100 m の BNC ケーブル 1 本で、忠実に映像表示できます。デジタルデイジーチェーンも可能な SDI 出力付きです。

効率的な運営、管理をサポートする、充実の管理機能を搭載

スケジューリング

電源 ON ／ OFF のスケジュール管理を自動化 → P41、P42、P54

電源を自動で ON ／ OFF する時間を毎日・各曜日・毎週から選んで設定できます。
スケジュールは最大 7 つまで設定可能です。また、入力信号がないときに自動で休止状態（スリープモード）にするパワーセーブ機能を搭載しています。

スクリーンセーバー／サイドパネル

長時間使用時の液晶パネルへの負担を軽減 → P52

残像を抑えるガンマ値の設定や画面をわずかに上下左右に移動させるモーション機能などを搭載しています。また、4：3 映像を表示した場合、画像のない両側の色を調節するサイドパネル機能など、使用状況に応じた設定がおこなえます。

パワーオンディレイ

複数ディスプレイの同時起動を安定化 → P56

複数ディスプレイへ同時に電源投入すると過電流が発生する場合があります。これを防ぐため、ディスプレイごとに電源 ON のタイミングをずらすことにより、過電流による電源供給部への負担を軽減します。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
使用方法
機能
困ったとき
仕様
重要なお知らせ
さくいん

特　長（つづき）

LAN コントロール

LAN ネットワークで自在にコントロール → P30、P45、P53
コンピューターから LAN ネットワークを通じて制御コマンドを伝送し、複数ディスプレイの設定変更や遠隔診断などがおこなえ、効率的に集中管理できます。当社プロトコルのみならず、ネットワークコントローラーの管理ソフトウェアとして広く利用されているクレストロン社の RoomView ™ソフトウェアと AMX 社の AMX Device Discovery にも対応しています。

その他

内蔵スピーカー

スピーカーを内蔵 → P11、P39
ディスプレイ本体の内部にスピーカーを備え、ステレオで音声メッセージなどを伝えられます。必要に応じて、外部にスピーカー（市販）を接続できます。

リモコン操作

専用リモコンで、主な操作・設定が可能 → P15
電源 ON ／ OFF や映像ソースの切り替え、各種設定など、主な操作をおこなえる専用リモコンを付属しています。

クローズドキャプション

英語のキャプション（字幕）を表示可能 → P56
文字多重映像信号を入力して、字幕を表示することができます。英語の学習やコンテンツ制作に有効です。

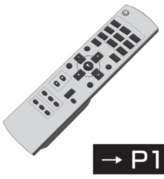
もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
使用方法
機能
困ったとき
仕様
重要なお知らせ
さくいん

付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

☑ **取扱説明書（本書）**

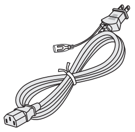
☐ **リモコン**



→ P15

☐ **電源コード (3 m)**

AC100 V専用電源コード
本機専用です。安全のため、他の機器には使用しないでください。



この電源コードは日本国内用です。安全のため、日本国外で使用しないでください。

→ P31

☐ **信号ケーブル (4 m)**

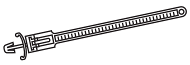
ミニD-SUB15ピンーミニD-SUB15ピン
（アナログ接続用）

→ P23

☐ **保証書**（梱包箱に貼付けています）

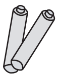
☐ **クランパー x 3**

（電源コード、HDMIケーブル脱落防止用およびケーブル結束用）



→ P22、P31

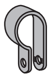
☐ **単4形乾電池 x 2**



→ P16

☐ **クランパー x 2**

（転倒防止用）



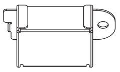
→ P18

☐ **ネジ(M4) x 2**

（転倒防止クランパー用）

→ P18

☐ **主電源スイッチカバー**



→ P20

☐ **ネジ(3) x 1**

（主電源スイッチカバー用）

→ P20

本書の見かた

本書の表記のしかた

お 願 い ：取扱い上、特に守っていただきたい内容
お知らせ ：取扱い上、参考にしていただきたい内容
→ PXX ：参考にしていただきたいページ
【ミニ解説】：専門用語の簡単な説明

知りたいことを探すために

やりたいことから探す→「特長」→ P3、P4
もくじで探す→「もくじ」→ P2
さくいんで探す→「さくいん」→ P67

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態で VCCI 基準に適合しています。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本製品は PC3R「PC グリーンラベル制度」の審査基準（★★☆　2011 年度版）を満たしています。
詳細は、Web サイト：www.pc3r.jp をご覧ください。

本製品は「J-Moss グリーンマーク・ガイドライン」に基づく J-Moss グリーンマークを表示しています。
「J-Moss（JIS C 0950）」に基づく特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有状況についての情報を公開しています。
詳細は、ウエブサイト www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment をご覧ください。
形名：LDT462V

本製品は医療用機器ではありませんので、診断には使用できません。また、日本画像医療システム工業会規格（JESRA X 0093）に定める医療用画像表示用モニターに相当しません。

■ 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
■ 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
■ 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
■ 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

VISEO は、三菱電機株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows Vista、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Macintosh は Apple 社の米国等における登録商標です。
HDMI、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
インテル、Intel は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
Crestron、Crestron RoomView および RoomView は、Crestron Electronics, Inc. の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
AMX は、AMX, LLC の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
その他、この取扱説明書に記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

安全のために必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険	死亡や重傷を負うおそれが大きい内容です。
⚠ 警告	死亡や重傷を負うおそれがある内容です。
⚠ 注意	傷害を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容です。

■ お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

(禁止の図記号)	してはいけない内容です。
(指示の図記号)	実行しなくてはならない内容です。
(注意の図記号)	気をつけていただく内容です。

⚠ 危険

電池（アルカリ乾電池）について

◆ **電池の液を目に入れないようにしてください**

電池のアルカリ電解液が目に入ったときは、失明など傷害のおそれがあります。
目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などの大量の水で十分に洗った後、医師の治療を受けてください。

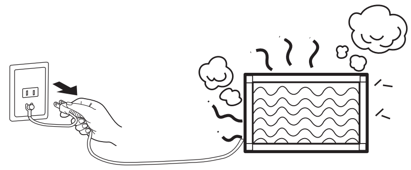
⚠ 警告

異常・故障について

異常・故障時は使用を中止してください。

プラグを抜く

◆ **異常があったときは電源プラグを抜いてください**

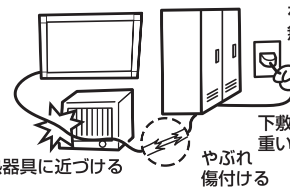


◎ 煙が出たり、異常な臭いや音がする
◎ 映像や音声が出ないことがある
◎ 内部に水などの液体や異物が入った
◎ 本機に変形や破損した部分がある
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
● すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店に修理を依頼してください。
● お客さまによる修理は危険ですから、おやめください。
● 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置の電源コンセントをご利用ください。

電源コード・電源プラグについて

◆ **破損するようなことはしないでください**

◎ 傷付ける　◎ ねじる
◎ 加工する　◎ 引っ張る
◎ 熱器具に近づける　◎ 重いものを載せる
◎ 無理に曲げる　◎ 束ねる
火災・感電・ショートなどの原因になります。
● 修理は販売店に依頼してください。

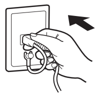


◆ **傷んだ電源プラグやゆるんだ電源コンセントは使用しないでください**

火災・感電・ショートなどの原因になります。
● 修理は販売店に依頼してください。

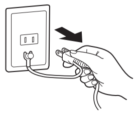
◆ **電源プラグは根元まで確実に差し込んでください**

差し込みが不完全だと火災・感電の原因になります。



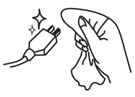
◆ **電源プラグを持って抜いてください**

コードを引っ張ると破損し、火災・感電・ショートの原因になります。



◆ **電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください**

ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。



濡れ手禁止

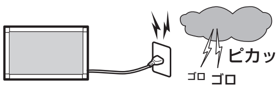
◆ **濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください**

感電の原因になります。

接触禁止

◆ **雷が鳴り出したら、本機および電源プラグには触れないでください**

感電の原因になります。



⚠ 警告

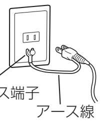
電源コード・電源プラグについて

アース線を接続する

◆ **アース線を接続してください**

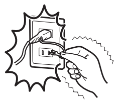
故障のときに感電の原因になります。

- 電源プラグを接続する前にアース線を電源コンセントのアース端子へ接続してください。
- アース線を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてからおこなってください。
- アース端子付き電源コンセントがない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



◆ **アース線を電源コンセントに挿入・接触させないでください**

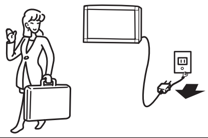
感電・火災の原因になります。



プラグを抜く

◆ **長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜いてください**

電源プラグにほこりがたまり、感電・火災の原因になります。



接続ケーブルについて

◆ **接続ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください**

火災・感電の原因になります。

◆ **接続ケーブルを壁面に挟んだり、足をひっかけたりしないように処理してください**

火災・感電・けがの原因になります。

水濡れについて

水濡れ禁止

◆ **上に花びんやコップなどを置かないでください**

故障・火災・感電などの原因になります。

風呂・シャワー室などでの使用禁止

◆ **風呂場や水のかかる所に置かないでください**

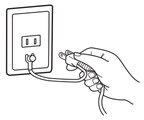
故障・火災・感電などの原因になります。

電源について

◆ **電源はAC100-120VまたはAC220-240Vを使ってください**

火災・感電の原因になります。

- AC100V電源では付属の電源コードを使用してください。
- AC100V以外の電源では、使用電圧に適合する電源コードをご準備ください。



異物について

◆ **内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を入れないでください**

火災・感電・故障の原因になります。

- 特にお子さまにご注意ください。

液晶について

◆ **液晶パネルが破損して液晶が漏れ出た場合は、吸い込んだり、目や口に入れたりしないでください**

中毒を起こす原因になることがあります。

- 万一、目や口に入ってしまった場合は、水でゆすいだ後、すぐに医師の診察を受けてください。
- 手や衣類に付着した場合は、アルコール等で拭き取り、水洗いをしてください。

電源について

◆ **電源コンセントや電源コードの定格を超えて使わないでください**

◆ **たこ足配線をしないでください**

電源コンセントの電流容量を超えると、火災の原因になります。

誤飲防止について

◆ **小さい付属品は、乳幼児の手の届く所に置かないでください**

誤って飲み込むおそれがあります。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師の診察を受けてください。

設置について

◆ **不安定な場所に置かないでください**

倒れたり、落ちたりしてけがや故障による火災の原因になります。

分解禁止について

分解禁止

◆ **裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、本機を改造しないでください**

内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因になります。

高圧注意

- 内部の点検・調整・修理は修理相談窓口にご依頼ください。

⚠警告

電池（アルカリ乾電池）について

◆ **電池のアルカリ液を皮膚や衣服に付着させないでください**

皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに水道水などの大量の水で十分に洗い流してください。

◆ **電池のアルカリ液をなめないでください**

アルカリ液をなめたときは、医師の治療を受けてください。

● 特にお子さまにご注意ください。

◆ **電池は、乳幼児の手の届かない所に置いてください**

万一、電池を飲み込んだときはすぐに、医師の診察を受けてください。

◆ **電極（プラス⊕とマイナス⊖）をショートさせないでください**

過大電流が流れて漏液・発熱・破裂させる原因になります。

◆ **電池を分解したり、火の中に入れたりしないでください**
◆ **極性（⊕と⊖）を逆に入れないでください**
◆ **充電しないでください**
◆ **新しい電池と古い電池を混ぜたり、異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください**
◆ **本機のリモコンに適した正しい電池を使用してください**

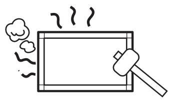
品名：単4形アルカリ乾電池
漏液・発熱・破裂させる原因になります。

⚠注意

本機の取り扱いについて

◆ **強い力や衝撃を加えないでください**

LCDパネルのガラスが割れて、けがの原因になることがあります。

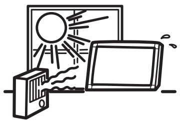


◆ **上にものを置かないでください**

落下して、けがの原因になることがあります。

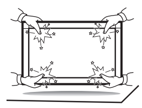
◆ **直射日光や熱器具のそばに置かないでください**

故障の原因になることがあります。



◆ **液晶パネル面を強く押さないでください**

・傷が付いたり、破損してけがの原因になることがあります。
・画質劣化や故障の原因になることがあります。



◆ **ポリ袋で遊ばないでください**

本体や付属品の包装用ポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になることがあります。

● お子さまにはご注意ください。

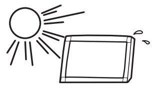
◆ **乗らないでください**
◆ **ぶらさがらないでください**

倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります。

● お子さまにはご注意ください。

◆ **屋外で使用しないでください**

故障の原因になることがあります。



◆ **車に載せるなどの移動用途では使用しないでください**

故障の原因になることがあります。

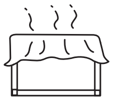
◆ **電源コードや接続ケーブルをつけたまま移動しないでください**

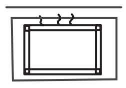
本機や電源コードおよび接続ケーブルが破損する原因になります。

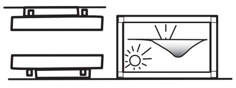
設置について

◆ **通風孔をふさがないでください**
◆ **風通しの悪い狭い所で使用しないでください**
◆ **上向きや下向き、逆さまで使用しないでください**

内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。

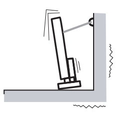

通風孔をふさがない

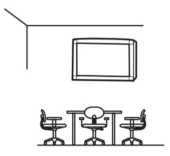

狭い所で使わない


上向きや下向き、逆さまで使わない

◆ **転倒・落下防止部品を使用して固定してください**

転倒・落下して、けがの原因になります。


スタンドを使用した設置では、
丈夫な紐などで製品を壁とつなぐ



もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
使用方法
機能
困ったとき
仕様
重要なお知らせ
さくいん

⚠注意

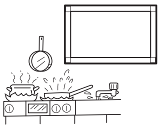
設置について

◆ **本機の上下左右面は壁などから10cm以上の間隔をおいて設置してください**

内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。

◆ **湿気やほこりの多い所、油煙や湯気があたるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください**

ショートして故障したり、画面が汚れたりする原因になることがあります。



電池（アルカリ乾電池）について

◆ **長期間使用しない場合はリモコンから取り出してください**
◆ **直接ハンダ付けしないでください**
◆ **変形しているなど異常な電池は使用しないでください**
◆ **電池を落下させるなど強い衝撃を与えないでください**
◆ **電池を変形させたり絶縁物を損傷させないでください**

電池の破裂・漏液により、けがや周囲を汚損する原因になります。

◆ **直射日光があたるなど高温／高湿の場所で保管・使用をしないでください**

漏液するおそれがあります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。

◆ **電池を水などで濡らさないでください**

発熱したり、電極部を錆びさせることがあります。

◆ **保管時や廃棄時は端子部を絶縁してください**

漏液・発熱・破裂させるおそれがあります。

● 保管時や廃棄時は、金属や他の電池と接触してショートしないように、必ず端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。

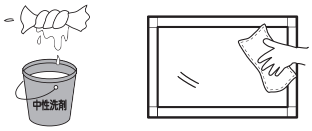
もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
使用方法
機能
困ったとき
仕様
重要なお知らせ
さくいん

⚠注意

お手入れのしかた

プラグを抜く

◆ **お手入れの前に、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください**



■ 液晶パネルのお手入れ

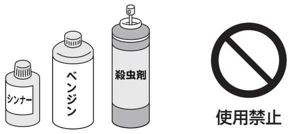
表面は傷付きやすいので硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
ほこりの付いた布・化学ぞうきんで表面をこすると液晶パネルの表面がはがれることがあります。

- 表面は、脱脂綿か柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 油など拭き取りにくい汚れのときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞り、拭き取ったあと柔らかい布で仕上げてください。研磨剤が入った洗剤は、表面を傷付けるので使用しないでください。
- 水滴などがかかった場合は、すぐに拭き取ってください。そのままにすると液晶パネルの変質や変色の原因になります。
- 表面にほこりが付いたときは、市販の柔らかいブラシなどでおとしてください。
- 帯電防止剤は、液晶パネルの変質や変色の原因になるものがあります。ご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

■ キャビネットのお手入れ

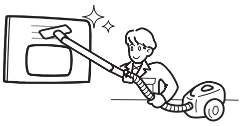
キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。
ベンジンやクリーナーなどで拭くと変質したり、塗料がはげる原因になります。

- 柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞り拭いてください。
- 水滴などが液晶パネルの表面を伝ってディスプレイの内部に侵入すると故障の原因になります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。



◆ **通風孔に付着したゴミはこまめに取り除いてください**

ほこりが通風孔をふさいで内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。



◆ **1年に一度は内部掃除をしてください**

内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。

- 内部の掃除は販売店にご依頼ください。

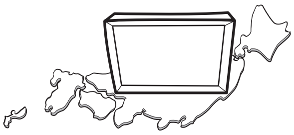
ご使用に関して

◆ **海外で使用しないでください**

国内と海外では電源電圧が異なり、故障の原因になることがあります。

- 本機は日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
  また、この製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
  This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

国内専用
For use in Japan only



◆ **目が疲れないように使用してください**

目が疲れる使い方を続けると、視力低下などの健康障害に至ることがあります。

- 明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。
- 連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

◆ **長時間同じ画面を表示しないでください**

長時間同じ画面を表示していると、表示が焼き付くこと（残像）があります。

- 画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。
- 「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えたり、使用していないときは省電力モードにするか、電源をオフすることを推奨します。

使用上のお願い

液晶ディスプレイの上手な使い方

電波妨害について

本機は規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「ラジオ」などの機器に本機を近づけると互いに妨害を受けることがあります。その場合は、機器を影響のない所まで本機から離してください。

搬送について

- 引っ越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱と緩衝材および包装用のシートや袋をご用意ください。
- 本機は立てた状態で運搬してください。横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、点欠陥が増加する場合があります。

保管について

- 長期保管される場合は、電気的な性能を維持するために、定期的（6ヶ月に1回程度）に通電してください。
- 輸送・保管時は、水・ゴミ・ほこりや衝撃から保護するために、ご購入時の包装材（箱・袋・緩衝材）を使用されることを推奨します。

廃棄について

- 本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。→P66
- 液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には水銀が含まれています。ご自身で廃棄しないでください。環境や健康に悪影響を与える原因になります。
- 乾電池・リチウム一次電池は住んでいる所（各自治体）によって資源ゴミ、不燃ゴミ、有害・危険ゴミなどゴミの分類が異なり、そのため「捨てる方法」も違います。住んでいる市町村の指示にしたがって捨ててください。

液晶パネルについて

- 液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合があります。
  これは故障ではありません。

お知らせ

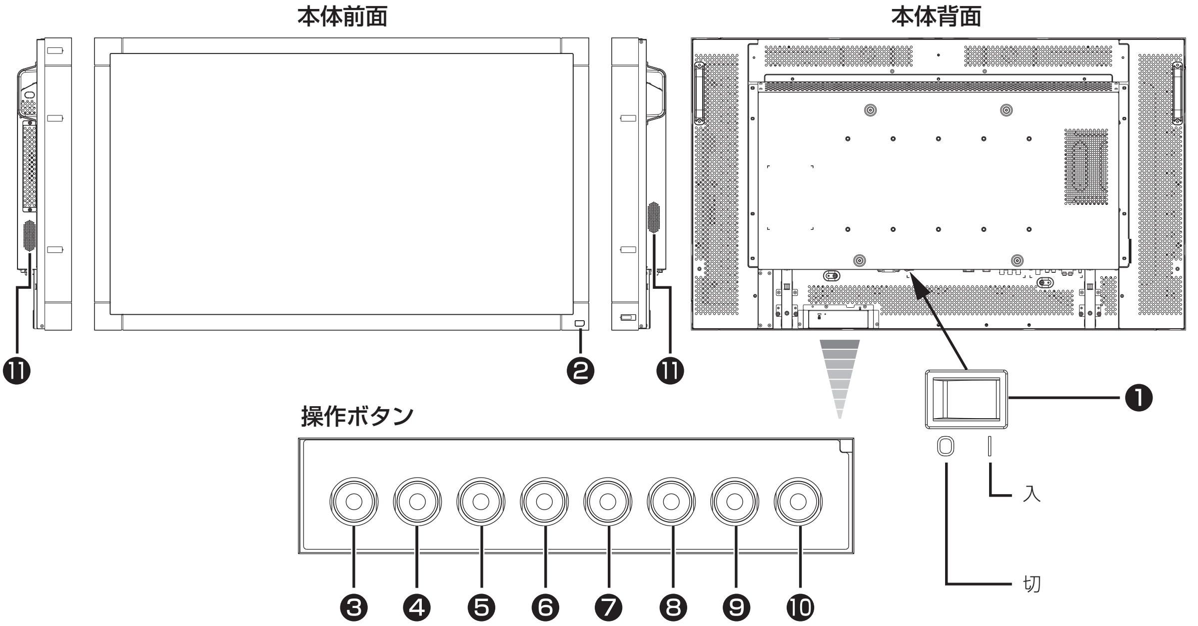
「画素」および「ドット」という言葉はISO13406-2にしたがい、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル(pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル(sub pixel)」となります。
つまり、「画素」は実態のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

- 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布で拭き取ってください。
  素手で触らないでください。
- 液晶パネルに水滴などがかかった場合は、すぐに拭き取ってください。
  そのまま放置すると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 液晶パネルを傷付けないでください。
  硬いもので液晶パネルの表面を押したり、ひっかいたりしないでください。

■ お客様または第三者が本機を使用中または誤使用により生じた故障やその他の不具合または本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

各部のはたらき

本体の操作ボタン・スイッチ・ランプ



❶ 主電源スイッチ
主電源（本機への AC 電源供給）を入／切するスイッチです。

❷ リモコン受光部／電源ランプ
リモコン受光部 ：リモコンの信号の受光部です。
電源ランプ ：本機の状態を簡便に明示します。
- ●緑色点灯： 電源入モードです。
- ●赤色点灯： 電源切モードです。電源入など一部の操作が可能です。
- ●同時点灯（緑／赤）： スリープモードです。 → P34
- ●消灯 ： 主電源が切れています。
- ●赤色点灯と緑色点滅 ：スケジュール待機中です。
- ●赤色点滅： 異常を検出した状態です。（自己診断機能） → P61

❸ 電源ボタン（⏻）
電源を入／切するときに押します。
電源ランプが消灯しているときは、動作しません。主電源を入れてください。

❹ ミュートボタン（MUTE）
音を消します。もう一度押すと音が出ます。

❺ 入力切替ボタン（INPUT）
映像入力を切り替える OSD を表示します。
アップボタン（▲）とダウンボタン（▼）で [HDMI]、[DVI-D]、[D-SUB]、[OPTION]*、[YPbPr]、[S-VIDEO]、[VIDEO] を選択します。
* OPTION は、オプションスロットに拡張モジュールを装着したときに使用可能です。

❻ プラスボタン（＋）
OSD 画面で調節項目を選択したあと、このボタンを押してお好みの画面に調節します。
OSD 画面が消えているときは、音量を大きくします。

❼ マイナスボタン（－）
OSD 画面で調節項目を選択したあと、このボタンを押してお好みの画面に調節します。
OSD 画面が消えているときは、音量を小さくします。

❽ アップボタン（▲）
OSD 画面が表示されているとき、▲ボタンで調節項目を選択します。

❾ ダウンボタン（▼）
OSD 画面が表示されているとき、▼ボタンで調節項目を選択します。

❿ EXIT ボタン（EXIT）
OSD 画面が表示されていないときに押すと、OSD 画面を表示します。
OSD 画面が表示されているときは、ひとつ前の OSD 画面に戻ります。

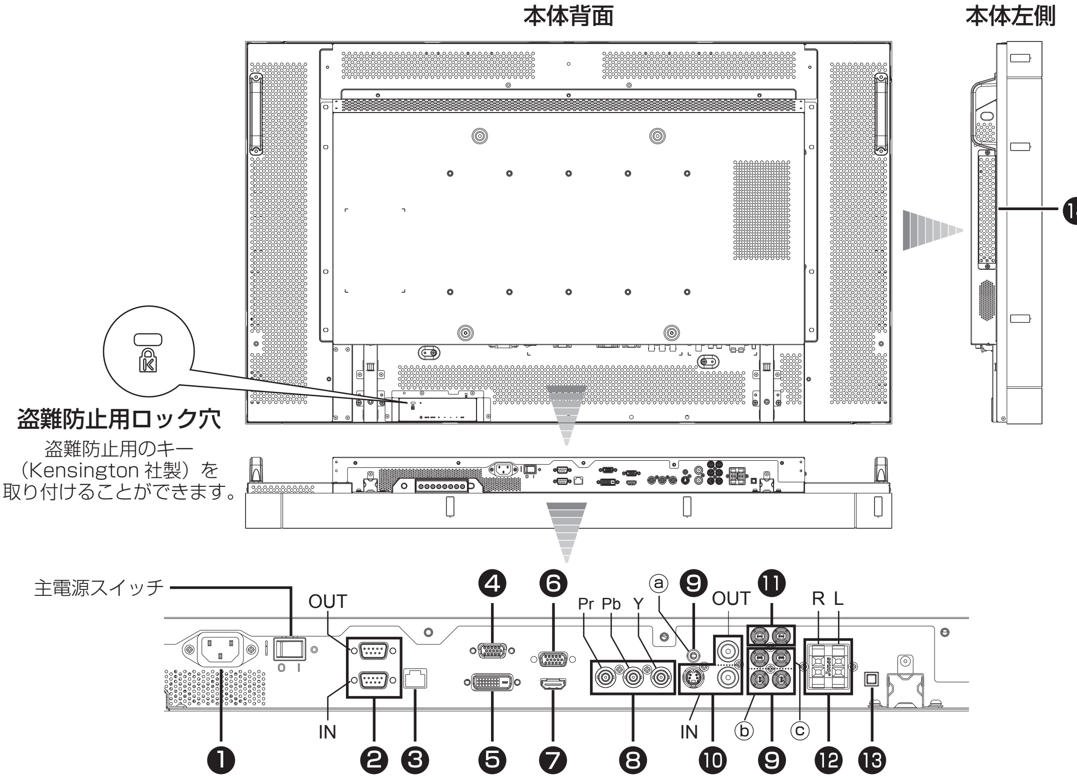
⓫ スピーカー
内蔵スピーカーから音声を出力します。

（参考）コントロールロックモード → P57
操作ボタンをロックすることができます。

お知らせ

● 各ボタンによる OSD 画面の操作方法は「OSD の基本操作」→ P47 をご覧ください。

本体背面の入出力コネクター



❶ 電源入力コネクター（3 極アース端子付き）
電源コードを接続します。

❷ RS-232C コネクター（D-SUB 9 ピン）
IN 側コネクターには、コンピューターまたはマルチ接続した LDT462V の RS-232C OUT コネクターからのケーブルを接続します。
OUT 側コネクターには、マルチ接続した LDT462V の RS-232C IN コネクターへのケーブルを接続します。

❸ LAN コネクター
LAN ケーブルを接続します。

❹ D-SUB 出力コネクター
本機で選択された D-SUB（❻）または YPbPr（❽）入力と同じ信号を出力します。

❺ DVI-D 入力コネクター
コンピューター等のデジタル映像出力に接続します。

❻ D-SUB 入力コネクター
コンピューター等のアナログ映像出力に接続します。

❼ HDMI 入力コネクター
コンピューターや DVD プレーヤー等のデジタル映像出力に接続します。

❽ YPbPr 入力コネクター
DVD プレーヤーなどのコンポーネント映像出力に接続します。

❾ オーディオ入力コネクター
コンピューター、ビデオプレーヤー、DVD プレーヤーなどの音声出力コネクターに接続します。
ⓐ AUDIO IN1：φ 3.5 ステレオミニジャックコネクター
ⓑ AUDIO IN2：RCA コネクター
ⓒ AUDIO IN3：RCA コネクター

❿ ビデオ入出力コネクター（S 端子／ BNC）
ビデオ機器などに接続します。
S-VIDEO IN：S 端子入力コネクター（MINI DIN 4 ピン）
VIDEO IN　：BNC コネクター
VIDEO OUT：BNC コネクター

⓫ オーディオ出力コネクター（RCA）
本体で選択されたオーディオ入力（❾）と同じ信号を出力します。外部オーディオアンプ等を接続します。

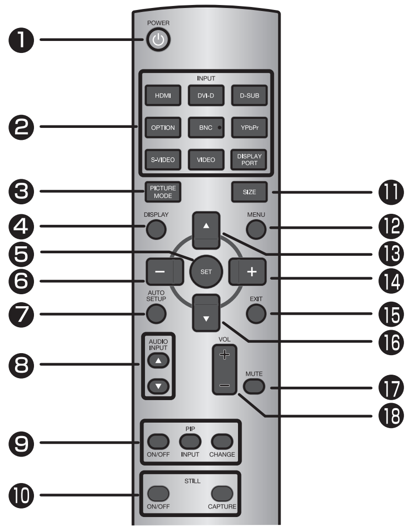
⓬ スピーカー出力コネクター → P21
外部スピーカー（市販）（定格インピーダンス：8 Ω、定格入力：10W）を接続します。

⓭ スピーカースイッチ
内蔵スピーカーと外部スピーカー（市販）を切り替えます。

⓮ オプションスロット
拡張モジュール（オプションまたは市販）を挿入します。

⚠注意
本機に対応したモジュール以外は挿入しないでください。挿入した場合、期待どおりの動作をしなかったり相互に故障したりする恐れがあります。 → P27
OPS 対応コンピューター（市販）装着時は、冷却ファンを ON にしてください。

リモコン



❶ 電源ボタン（POWER）
電源を入／切するときに押します。
（電源ランプが点灯していないときには動作しません）

❷ 入力切替ボタン（INPUT）
映像入力を切り替えます。
それぞれ [HDMI]、[DVI-D]、[D-SUB]、[OPTION]*、[YPbPr]、[S-VIDEO]、[VIDEO] に切り替わります。

* OPTION は、オプションスロットに拡張モジュールを装着したときに使用可能です。

お知らせ

［BNC］と「DISPLAY PORT」ボタンは機能しません。

❸ ピクチャーモード切替ボタン（PICTURE MODE）
ピクチャーモードを選択します。

HIGHBRIGHT：ブライトネスを最も明るくします。
STANDARD：工場出荷時の標準的な設定です。
sRGB：sRGB 規格対応機器との色あわせに適します。
CINEMA：映画を見るのに適します。

❹ DISPLAY ボタン（DISPLAY）
画面情報を表示します。→ P57
リモコンモード → P56 を LOCK に設定した場合は、DISPLAY ボタンを 5 秒以上押し続けると NORMAL 状態に戻ります。

❺ SET ボタン（SET）
OSD 画面で調節した内容を決定します。

❻ マイナスボタン（ー）
OSD 画面で調節項目を選択したあと、このボタンを押してお好みの画面に調節します。PIP 機能が選択されているときは、子画面を左に動かします。

❼ AUTOSETUP ボタン（AUTO SETUP）
オートセットアップメニュー画面を表示します。

❽ 音声入力切替ボタン（AUDIO INPUT）
音声入力を映像入力ごとに切り替えることができます。
→ P58

❾ 子画面面選択ボタン（PIP） → P51、P59
ON ／ OFF ボタン：PIP、POP 機能を ON ／ OFF します。
INPUT ボタン　　：子画面の映像を選択します。
CHANGE ボタン　：親画面と子画面を入れ替えます。

【ミニ解説】

PIP：Picture in Picture
親画面内に子画面を表示する機能です。
POP：Picture Out Picture
親画面外の右下に子画面を表示する機能です。
SIDE BY SIDE
親画面と子画面を左右に並べて表示する機能です。

お知らせ

画面サイズが「CUSTOM」「REAL」の場合、PIP、POP は機能しません。

❿ 画面静止ボタン（STILL）
ON ／ OFF ボタン：スチル機能を ON ／ OFF します。
CAPTURE ボタン：画面を静止させます。

⓫ サイズボタン（SIZE）
ピクチャーサイズを [FULL]、[NORMAL]、[CUSTOM]、[DYNAMIC]、[REAL] から選択します。→ P57

⓬ MENU ボタン（MENU）
OSD 画面を ON ／ OFF します。

⓭ アップボタン（▲）
OSD 画面が表示されているとき、▲ボタンで調節項目を選択します。PIP 機能が選択されているときは、▲ボタンで子画面を上に動かします。

⓮ プラスボタン（＋）
OSD 画面で調節項目を選択したあと、このボタンを押してお好みの画面に調節します。
PIP 機能が選択されているときは、子画面を右に動かします。

⓯ EXIT ボタン（EXIT）
ひとつ前の OSD 画面に戻ります。

⓰ ダウンボタン（▼）
OSD 画面が表示されているとき、▼ボタンで調節項目を選択します。PIP 機能が選択されているときは、▼ボタンで子画面を下に動かします。

⓱ ミュートボタン（MUTE）
音声を消します。もう一度押すと音声が出ます。

⓲ 音量ボタン（VOL）
＋を押すと音量が大きくなります。
－を押すと音量が小さくなります。

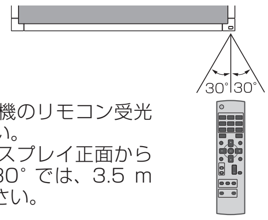
お願い　リモコンの取り扱い

落としたり衝撃を与えない。

水をかけたり、濡れたものの上に置かない。

ベンジン、シンナーなど揮発性の液体で拭かない。

リモコンの使用範囲



リモコンの先を本機のリモコン受光部に向けてください。
リモコンは、ディスプレイ正面から 7 m 以内、左右 30° では、3.5 m 以内でご使用ください。

リモコンの取り扱い

基本的な使い方
リモコンはディスプレイ本体のリモコン受光部へ向けて操作してください。

⚠注意

● リモコン使用上の注意
- 本機専用のリモコンです。他のディスプレイやテレビなどの操作はできません。
- リモコンの動作範囲は真正面からの直線距離で約 7 m ですが、操作する環境によっては反応が遅かったり、動作しないこともありますので、この場合、画面に近づくか、より真正面に近い角度で操作してください。
- リモコンを落としたり衝撃を与えないでください。
また、水に濡らしたり、温度の高い所に置かないでください。故障の原因になります。
- リモコンを直射日光の当たる場所に放置しないでください。熱により変形することがあります。
- リモコンを操作しても本機が動作しなくなったら乾電池の交換時期です。新しい乾電池と交換してください。
- 本体のリモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。

ご使用の前に

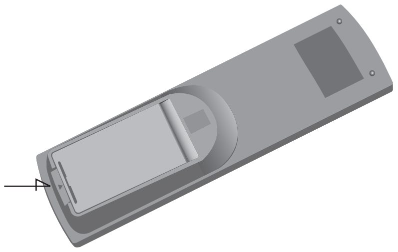
付属品の単４形乾電池をリモコンの電池室にセットしてください。

乾電池の交換方法

お知らせ

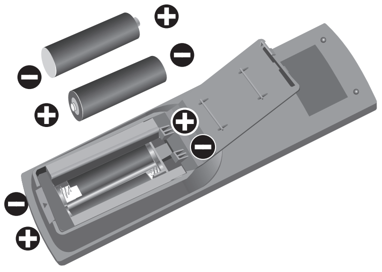
● 付属品の乾電池は保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
● 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して保管してください。

1 電池室開口部の▲マーク部を押しながら引き上げて蓋を開きます。
電池室を開いたら、古い乾電池を取り外してください。



2 使用する乾電池は単４形アルカリ乾電池です。
それ以外の電池は使用しないでください。

交換するときは、必ず電池室の＋マーク側と乾電池の＋マーク側を合わせて入れ替えてください。



3 新しい乾電池と交換したら、電池室の蓋を元に戻してください。

⚠警告

使用している乾電池は、使用形態や使用環境、保存環境などによって、漏液・発熱・破裂したり、けがや機器故障の原因になります。
「安全のために必ずお守りください。」→ P9 をご覧になり、取り扱いには十分に注意してください。

⚠注意

● 乾電池を入れるときは、プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きを正しく入れてください。
● 長期間リモコンを使用しない場合や使い切った場合は乾電池をすぐにリモコンから取り出してください。
長期間放置すると乾電池から発生するガスにより漏液、発熱、破損したり、リモコンを損傷する恐れがあります。
● 交換用乾電池は品番を確認して、同じものを使用してください。
● 付属品の乾電池は充電用ではありませんので充電しないでください。

これらの使い方を誤ると漏液・発熱・破裂により、けがの原因になります。

使用の準備

使用するための流れ

[準備 1] **設置する前に** → P18
設置条件
通気の確保と使用環境温度
転倒防止

必要に応じて

[準備 2] **設置する** → P19
専用スタンドを取り付ける
壁掛けや天吊りで使用する
縦置きに設置する
主電源スイッチカバーを取り付ける

必要に応じて

[準備 3] **外部スピーカー（市販）を接続する** → P21

[準備 4] **外部機器を接続する** → P22
簡単接続図
HDMI ケーブルの脱落防止
コンピューターを接続する (・アナログ接続　・デジタル接続)
ビデオ機器（コンポーネントビデオ／ HDMI 機器）を接続する
ビデオ機器（コンポジットビデオ／ S ビデオ機器）／ステレオアンプを接続する

必要に応じて

[準備 5] **拡張モジュールを取り付ける** → P27
拡張モジュールを取り付ける
SDI で長距離接続や複数接続をする
OPS 対応コンピューターを装着する

必要に応じて

[準備 6] **RS-232C を接続する** → P29

必要に応じて

[準備 7] **LAN を接続する** → P30

[準備 8] **電源コードを本機に接続する** → P31
電源を接続する

[準備 9] **電源プラグのアース線を接続する** → P31

[準備 10] **電源プラグを AC100 V 電源コンセントに接続する** → P31

これで使用前の準備は完了です。

使用方法 → P32

[準備 1] 設置する前に

設置条件

お 願 い

お客様による設置はしないでください。
設置する際は、お買い上げの販売店までご相談ください。

お知らせ

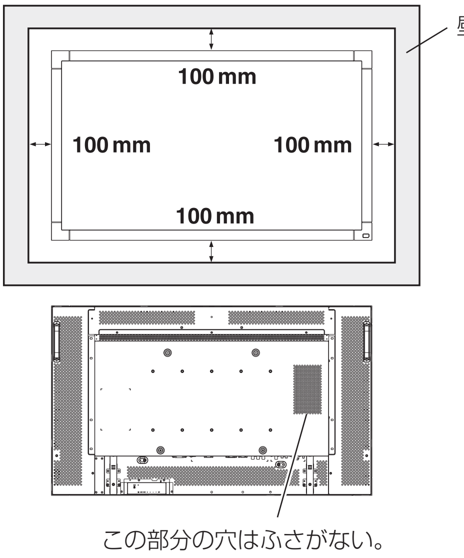
- 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。表示不具合をおこす場合があります。
- ディスプレイを上下逆さまや上向き、下向きにした状態でのご使用については、保証しておりません。

⚠注意

移動や設置および取り付けは、必ず 2 名以上でおこなってください。落下してけがの原因になる場合があります。

通気の確保と使用環境温度

熱がこもるのを防ぐため、ディスプレイの周囲は下図のように壁から離してください。



⚠注意

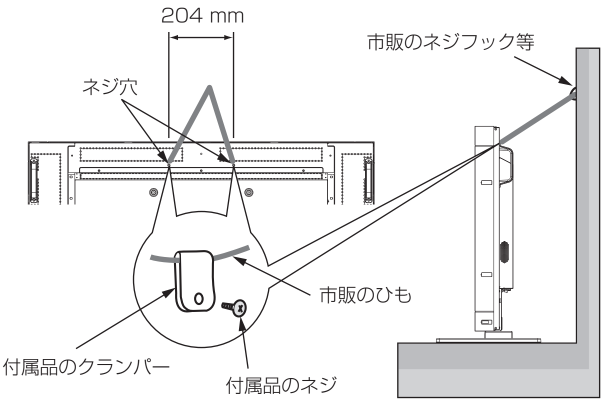
- 本体背面の指示部分は穴をふさがないでください。内部に熱がこもり、故障の原因になります。
- 本機を横置きした場合に保証する使用環境温度の上限は 40℃です。ケース等に入れてご使用される場合は、ケースの内部温度が 40℃以下になるようにケースに冷却ファンを取り付ける、通風口を設ける等の処置をおこなってください。縦置きの場合の上限は 35℃です。
- 使用環境温度が保証範囲を大きく超えるとき、画面上に「TEMPERATURE WARNING」の警告が表示されます。警告が表示された環境での使用は故障の原因になりますので、電源を切ってください。→ P61

冷却ファン

本機内蔵の冷却ファンは使用される環境温度に応じて自動的に動作するほかに、スクリーンセーバー機能 → P52 で常時動作するように設定することができます。
ケース内への設置や、液晶画面の表面にアクリル板などをつけてご使用になる場合は、内部温度上昇を HEAT STATUS 機能 → P56 で確認の上、必要に応じて冷却ファンの動作設定を変更してください。また、OPS 対応コンピューター（市販）装着時は、冷却ファンを ON にしてください。

転倒防止

専用スタンド（オプション）を使って設置する場合、地震等が原因で本機が転倒した場合の危害を軽減するために、転倒防止対策をおこなってください。
図のように、ディスプレイを壁や柱などの堅牢な場所へディスプレイの質量に耐えられる強度の丈夫なひも（市販）で転倒防止対策を施し、倒れないようにしてください。
（LDT462V：専用スタンド装着時　約 26.5 kg）
なお、ネジフック（市販）などをご使用になる場合は「口開き (C 字)」タイプは使用しないでください。「丸環状」のものをお使いください。



⚠注意

- 転倒防止金具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。
- また、転倒防止対策は、けがなどの危惧の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。
- 万一、地震などで転倒・落下の恐れがある場所では就寝しないでください。
- ディスプレイを移動するときには事前に「ひも」を取り外してください。

専用スタンドを取り付ける

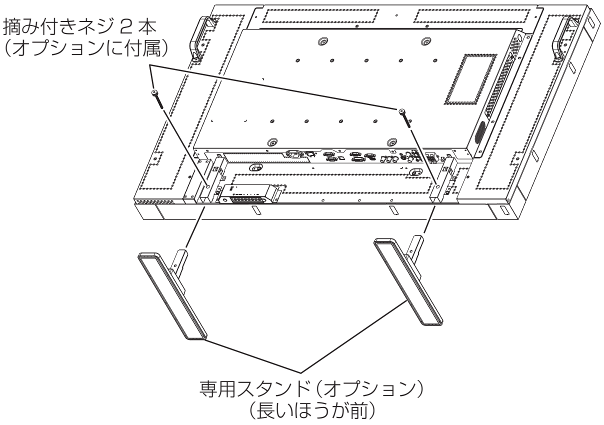
お知らせ

専用スタンドは、別売りオプションです。お買い求めの販売店にご相談し、ご用意ください。

1 机の上のような平らな場所で、ディスプレイをマットや毛布など柔らかいものの上に置きます。

2 左右の専用スタンドをガイドフレームの奥まで差し込みます。

左右の専用スタンドを、専用スタンドに付属の摘み付きネジでしっかり締め付けて固定します。



3 傾いていない平らで安定した場所に設置します。

⚠注意

- 本機の内部を破損する可能性があります。必ず付属の摘み付きネジを使用してください。
- 専用スタンドを取り付けるときは、本体と専用スタンドの間に手を挟まないように注意してください。

壁掛けや天吊りで使用する

1 机の上のような平らな場所で、ディスプレイをマットや毛布など柔らかいものの上に置きます。

⚠注意

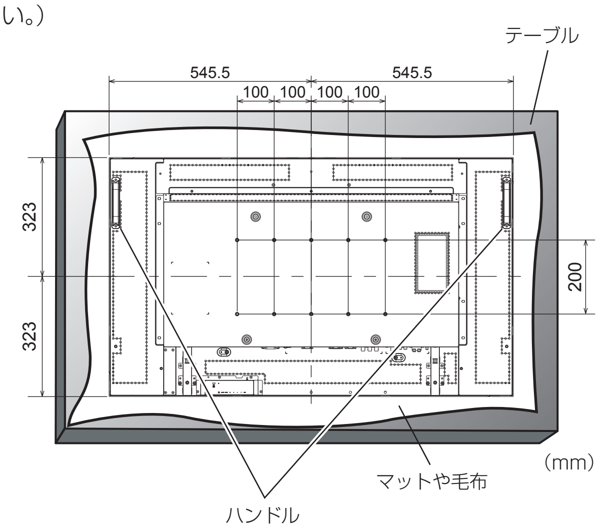
専用スタンドを装着している場合は、必ず取り外してください。

2 壁掛けや天吊り用として使用する場合は、適切な取り付け金具を使用してください。

また、取り付けには M6 ネジ（緩み止めスプリングワッシャー付き、長さは取り付け金具の板厚プラス 10 mm）を使用し、しっかり固定してください。

お 願 い

本体背面の取り付け穴を使用し、ネジでしっかり固定してください。
取り付け穴は背面に 10 箇所あります。取り付けの際には上下左右均等に取り付けてください。（下図を参照ください。）



⚠注意

落下防止のために

- 金具（市販）への取り付けは、お客様の責任においておこなってください。取り付け方法の詳細は、壁掛け用や天吊り用金具（市販）の取扱説明書を参照ください。
- また、地震等での本機の落下によるけがなどの危惧を軽減するために設置場所などは必ず金具メーカーにご相談ください。
- 落下の危険を軽減するために、左右のハンドルに市販のひもなどを通して、壁掛け用や天吊り用金具に固定してください。ディスプレイの質量の 6 倍 (約 150 kg) に耐えられる強度のひもを使用してください。
- 万一、地震などで落下の恐れがある場所では就寝しないでください。

縦置きに設置する

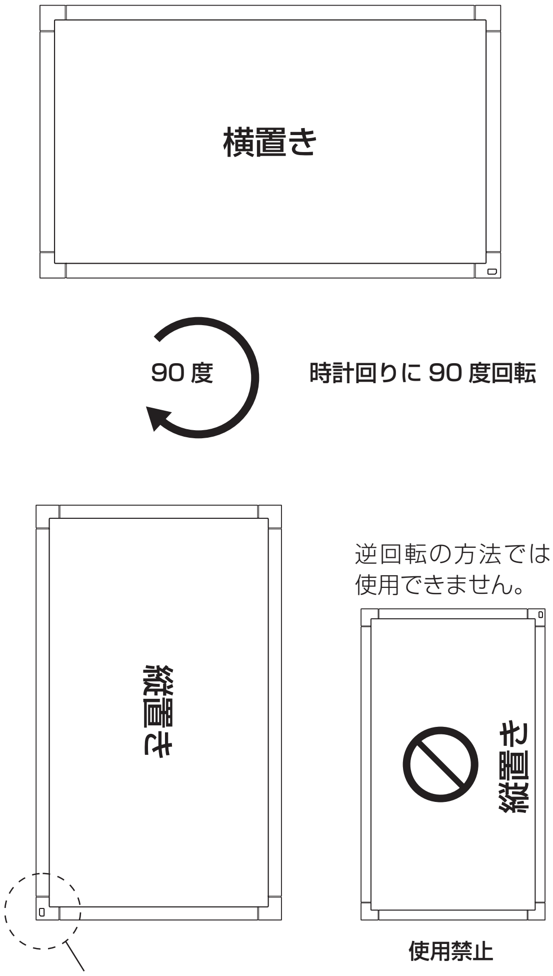
本機は、縦置きに設置できます。
以下に示すとおりの画面の上下関係を必ず守って使用してください。

お知らせ

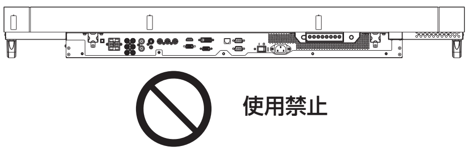
- 縦置きでの使用環境条件（温度）は、5℃～ 35℃になります。
- 下記に示す方法以外での設置方法（上下逆さまや上向き、下向きなど）は保証していません。
- OPS 対応コンピューター（市販）を装着したときは、OSD 機能の「詳細設定 1」のスクリーンセーバーで、冷却ファンを必ず ON にして使用してください。AUTO にして使用した場合、ON の場合と比較してコンピューターの寿命が短くなったり、故障したりする恐れがあります。
- 本機を縦置きに設置した場合、横置きと比較して蛍光管（バックライト）の寿命が短くなります。

縦置きに設置する場合

下図に示すとおり、時計回りに 90 度回転させ、リモコン受光部が左下になるように設置してください。



上向き



下向き

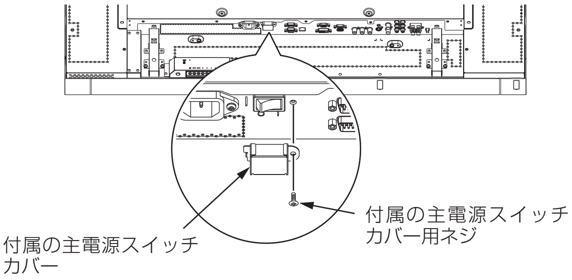
縦置き設置時の使用環境

縦置きでご使用の場合、以下に示す条件を超えないように注意して設置してください。

使用環境条件	
温度	5℃　～　35℃
湿度	20%　～　80%（結露のないこと）

主電源スイッチカバーを取り付ける

必要に応じて、主電源スイッチの操作ができないように付属の主電源スイッチカバーを取り付け、ネジで固定します。



お知らせ

主電源スイッチカバーを取り付けると、主電源スイッチの入／切操作はできません。

外部スピーカー（市販）を接続する

1 スピーカーケーブルで本機のスピーカー出力コネクターと外部スピーカー（市販）を接続する

左側スピーカーケーブルは、本機の SPEAKER (S) 端子 (L) へ、右側スピーカーケーブルは、本機の SPEAKER (S) 端子 (R) へ差し込んでください。

お願い

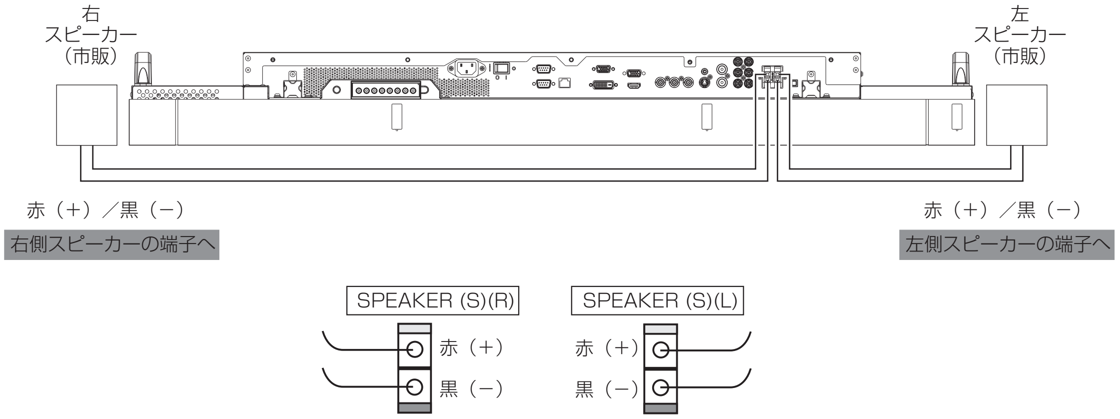
スピーカーケーブルとコネクターの極性（+ (赤) ／ − (黒)）を合わせて接続してください。
極性が合わないと、音声が正常に聞こえない場合があります。

推奨スピーカー仕様：

定格入力　　　　10 W
インピーダンス　8 Ω（左）、8 Ω（右）

⚠注意

仕様に合ったスピーカーを使用してください。仕様が合わないと、本機またはスピーカーの故障の原因になります。



[準備4] 外部機器を接続する

外部機器を接続する

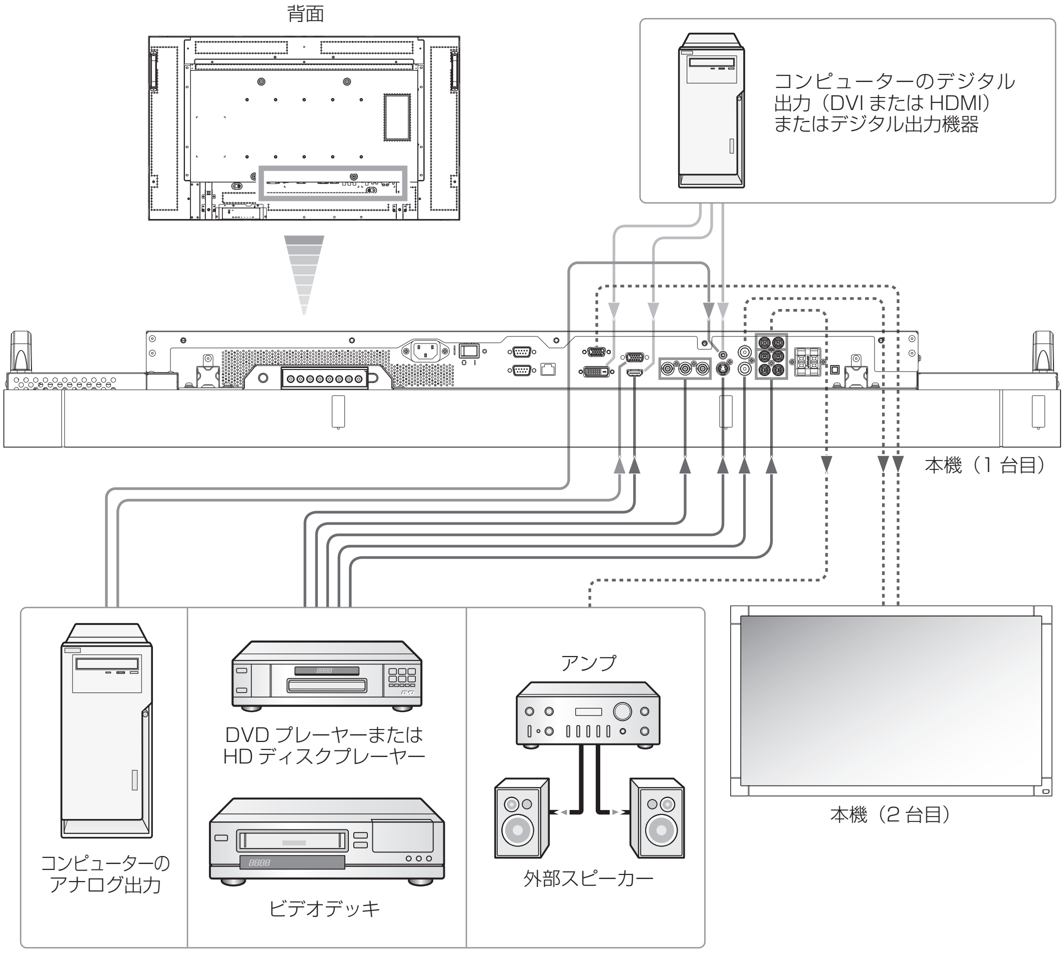
接続する前に

- 本機・コンピューターおよび周辺機器の電源は切ってください。
- それぞれの機器の取扱説明書を参照ください。

お知らせ

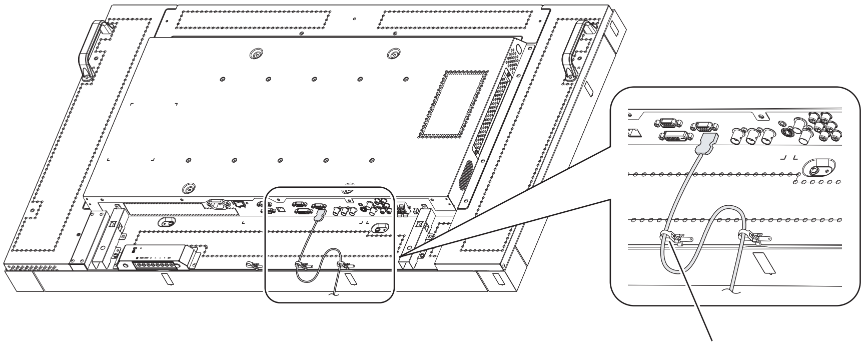
接続するオーディオ機器やコンピューターの音声出力端子の形状がステレオミニジャックの場合は、抵抗なしのオーディオケーブルをご使用ください。抵抗入りのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音声が出ない場合があります。

簡単接続図



HDMI ケーブルの脱落防止

- HDMI ケーブルを本機のコネクターに接続するときは、不用意に抜けないようにするために、図のように付属のクランパーで固定することを推奨します。



もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
使用方法
機能
困ったとき
仕様
重要なお知らせ
さくいん

コンピューターを接続する（アナログ接続）

アナログ接続するとき

● 信号ケーブル（ミニ D-SUB15 ピン－ミニ D-SUB15 ピン）（付属品）で D-SUB IN コネクターに接続します。
本体の INPUT ボタンまたはリモコンの D-SUB ボタンで [D-SUB] を選択します。

2 台目のディスプレイを接続するとき

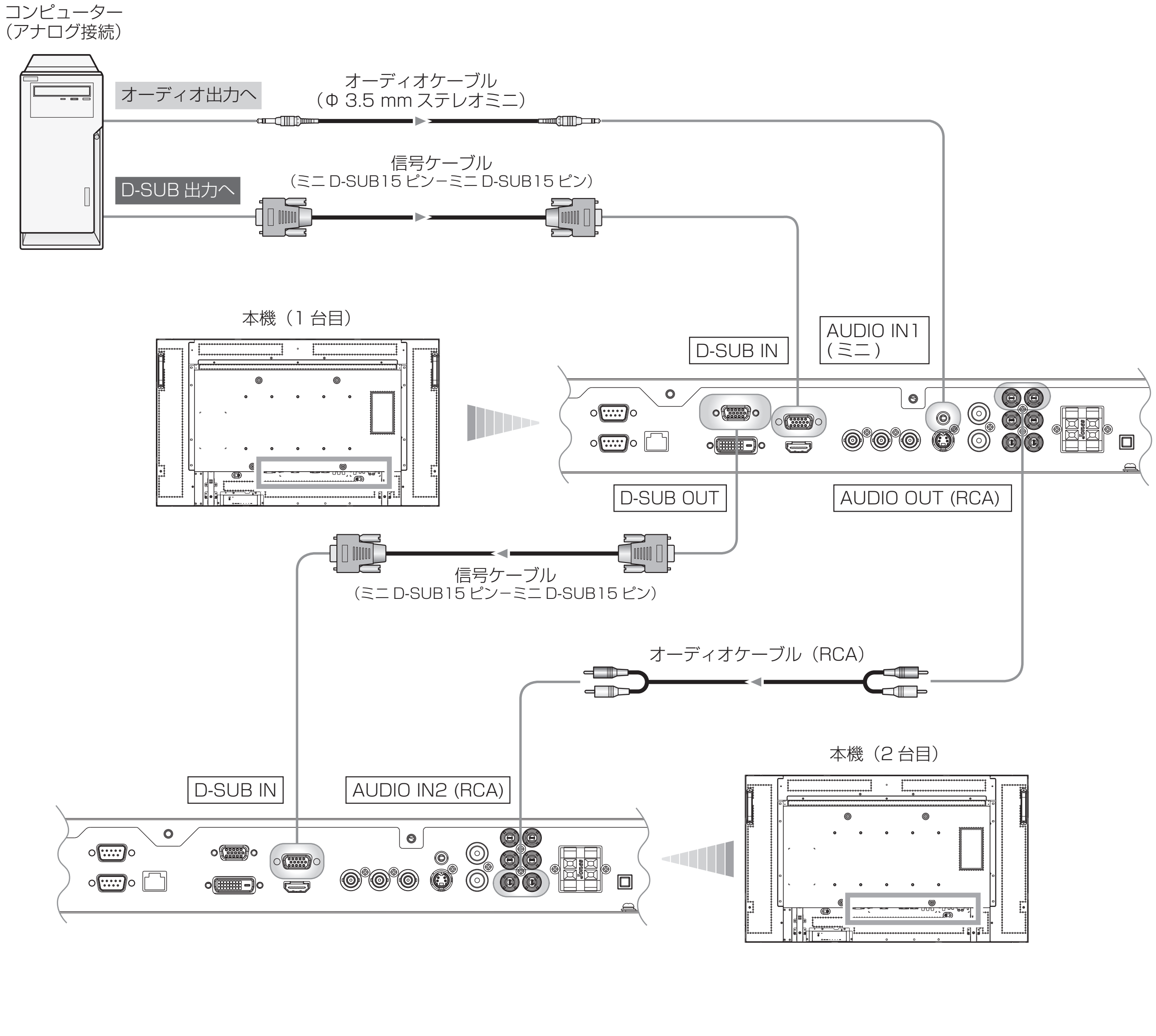
● 信号ケーブル（ミニ D-SUB15 ピン－ミニ D-SUB15 ピン）（2 台目のディスプレイの付属品または市販）で 1 台目の D-SUB OUT コネクター（ミニ D-SUB15 ピン）と 2 台目の D-SUB IN コネクター（ミニ D-SUB15 ピン）を接続します。
（1 台目で選択された D-SUB のアナログ入力信号が出力されます。HDMI および DVI-D のデジタル入力信号は出力されません。）

お知らせ

マルチスクリーン表示など、ディスプレイ間の色あいを合わせる必要がある場合には、信号分配器（市販）のご使用を推奨します。

オーディオ接続するとき

● オーディオケーブル（φ 3.5 mm ステレオミニ）（市販）で AUDIO IN1 コネクターに接続します。
リモコンの音声入力切替ボタン（ → P15 ❽ボタン）で [音声 1] を選択します。
● 2 台目のディスプレイに音声を出力するとき
オーディオケーブル（RCA）（市販）で 1 台目の AUDIO OUT コネクターと 2 台目の AUDIO IN2 コネクターまたは AUDIO IN3 コネクターに接続します。



外部機器を接続する（つづき）

本機は、下の表に示す種類のタイミングについて自動判別をおこない画面情報を設定します。したがって、コンピューターなどに接続すると自動的に適切な画面を表示します。

<工場プリセットタイミング>

	解像度	走査周波数		備　考		解像度	走査周波数		備　考
		水平	垂直				水平	垂直	
1	640 × 480	31.5 kHz	60 Hz		9	1280 × 1024	64.0 kHz	60 Hz	
2	800 × 600	37.9 kHz	60 Hz		10	1400 × 1050	65.3 kHz	60 Hz	
3	1024 × 768	48.4 kHz	60 Hz		11	1680 × 1050	65.3 kHz	60 Hz	
4	1280 × 720	45.0 kHz	60 Hz		12	1600 × 1200	75.0 kHz	60 Hz	
5	1280 × 768	47.8 kHz	60 Hz		13	1920 × 1080	56.2 kHz	50 Hz	
6	1280 × 800	49.7 kHz	60 Hz		14	1920 × 1080	67.5 kHz	60 Hz	推奨信号タイミング
7	1360 × 768	47.7 kHz	60 Hz		15	1920 × 1200	74.0 kHz	60 Hz	CVT Reduced Blanking
8	1440 × 900	55.9 kHz	60 Hz						

お知らせ

解像度 1920 × 1080 以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示できない場合があります。

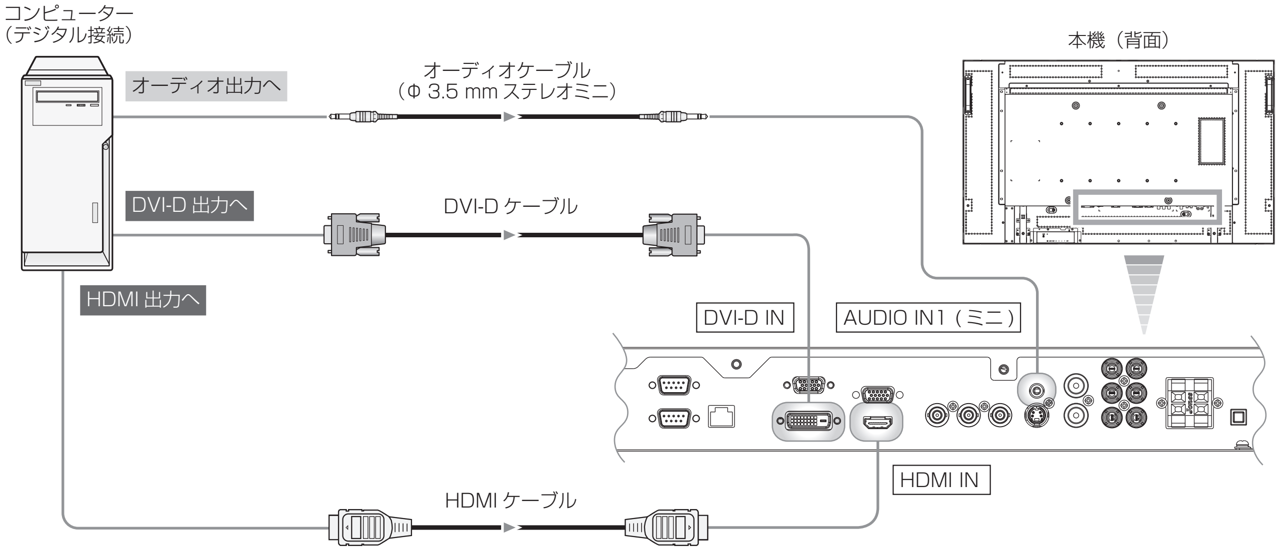
コンピューターを接続する（デジタル接続）

デジタル接続するとき

- HDMI IN コネクターを使用するとき
  HDMI ケーブル（市販）で HDMI IN コネクターに接続します。
  本体の INPUT ボタンまたはリモコンの HDMI ボタンで [HDMI] を選択します。
- DVI-D IN コネクターを使用するとき
  DVI-D ケーブル（市販）で DVI-D IN コネクターに接続します。
  本体の INPUT ボタンまたはリモコンの DVI-D ボタンで [DVI-D] を選択します。

オーディオ接続するとき

- オーディオケーブル（φ 3.5 mm ステレオミニ）（市販）で AUDIO IN1 コネクターに接続します。
  リモコンの音声入力切替ボタン（ → P15 ❽ボタン）で [音声 1] を選択します。
  HDMI ケーブル接続時は、HDMI の音声を選択します。
  （HDMI は、映像入力が [HDMI] のときのみ選択できます。）

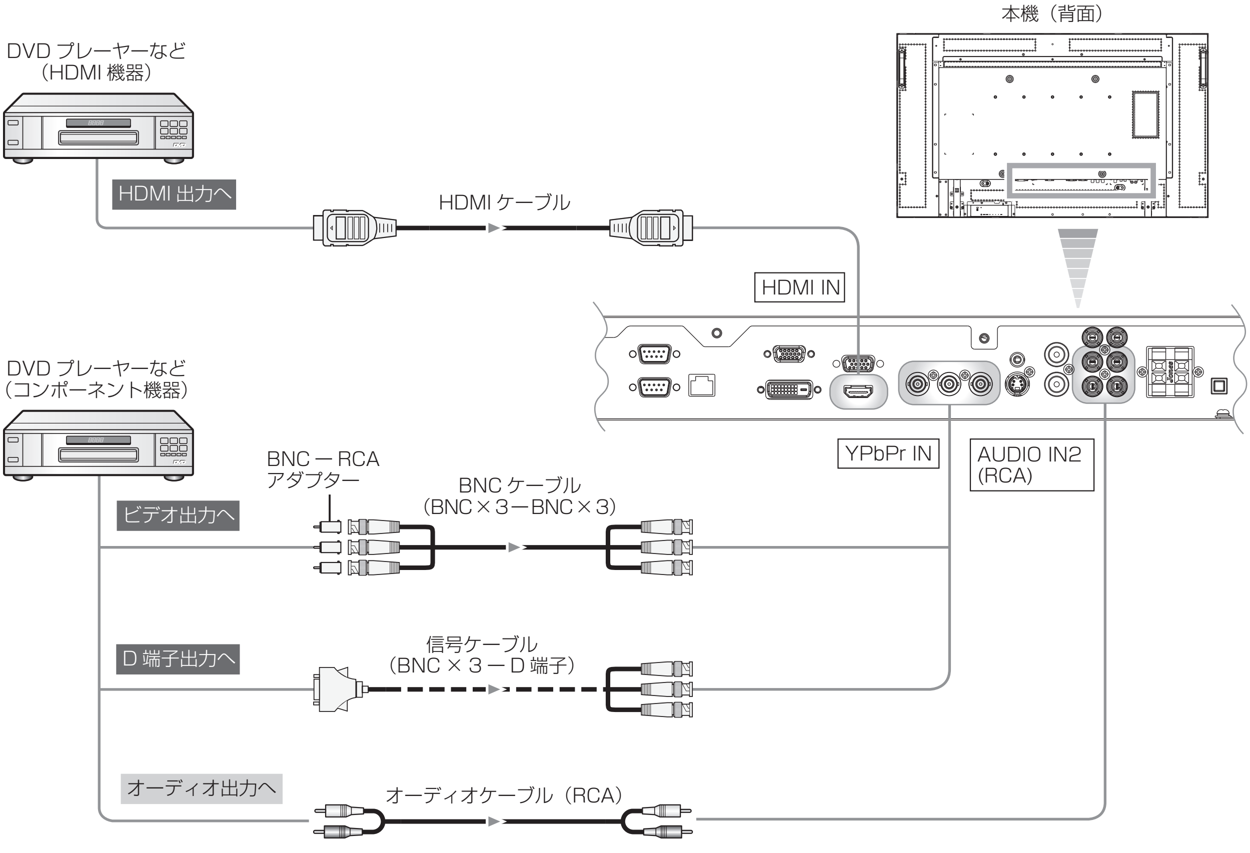


もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
使用方法
機能
困ったとき
仕様
重要なお知らせ
さくいん

ビデオ機器（コンポーネントビデオ／ HDMI 機器）を接続する

本機は、コンポーネント出力付き DVD プレーヤーなどと接続して使用することができます。
詳しくは、DVD プレーヤーなどの取扱説明書を参照ください。（下図に示すケーブルは市販です。）

- コンポーネント出力付き DVD プレーヤーなどを本機の YPbPr IN コネクターに接続する場合は、BNC ケーブル（BNC×3－BNC×3）と BNC － RCA アダプター（市販）、または信号ケーブル（BNC×3 － D 端子）を使います。
  本体の INPUT ボタンまたはリモコンの YPbPr ボタンで [YPbPr] を選択してください。
- オーディオ接続するときは、オーディオケーブル（RCA）で AUDIO IN2 コネクターまたは AUDIO IN3 コネクターに接続します。
  リモコンの音声入力切替ボタン（ → P15 ❽ボタン）で [音声 2] または [音声 3] を選択します。
- HDMI 出力付き DVD プレーヤーなどを本機の HDMI IN コネクターに接続する場合は、HDMI 信号ケーブルを使います。
  本体の INPUT ボタンまたはリモコンの HDMI ボタンで [HDMI] を選択します。
- HDMI ケーブル接続時は、HDMI の音声を選択します。
  （HDMI の音声は、映像入力が [HDMI] のときのみ選択できます。）



もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
使用方法
機能
困ったとき
仕様
重要なお知らせ
さくいん

[準備 4] 外部機器を接続する（つづき）

ビデオ機器（コンポジットビデオ／Ｓビデオ機器）／ステレオアンプを接続する

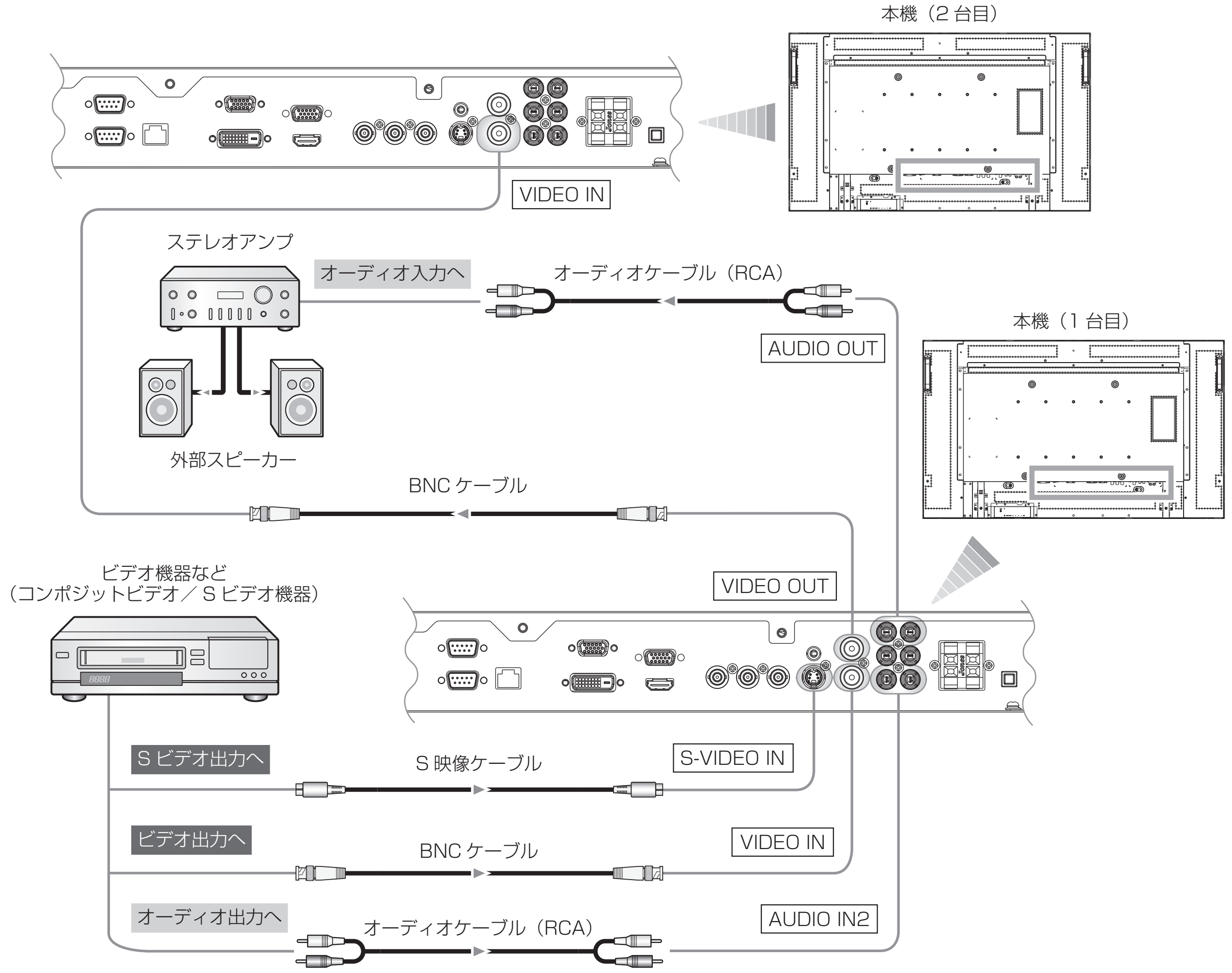
本機は、ステレオアンプを接続して使用することができます。
詳しくは、ステレオアンプの取扱説明書を参照ください。（下図に示すケーブルは市販です。）

- ビデオ機器を本機のビデオ入力コネクター（VIDEO IN または S-VIDEO IN）に接続する場合は、BNC ケーブルまたは S 映像ケーブルを使います。オーディオケーブル（RCA）を使って、本機のオーディオ入力コネクターに接続します。オーディオケーブル（RCA）の左右を正しく接続してください。VIDEO IN に接続した場合は、本体の INPUT ボタンまたはリモコンの VIDEO ボタンで [VIDEO] を選択してください。S-VIDEO IN に接続した場合は、本体の INPUT ボタンまたはリモコンの S-VIDEO ボタンで [S-VIDEO] を選択してください。
- 2 台目のディスプレイを接続する場合は、1 台目の本機の VIDEO OUT コネクターから 2 台目の本機の VIDEO IN コネクターに BNC ケーブルで接続します。

お知らせ

マルチスクリーン表示など、ディスプレイ間の色あいを合わせる必要がある場合には、信号分配器（市販）のご使用を推奨します。

- ステレオアンプを本機に接続する場合は、ステレオアンプの電源を必ず切にしてください。オーディオケーブル（RCA）を使って、本機のオーディオ出力コネクターに接続します。オーディオケーブル（RCA）の左右を正しく接続してください。必ず本機の電源を入れた後に、ステレオアンプの電源を入にしてください。
- 入力切替で選択されたオーディオ入力の信号が、AUDIO OUT コネクター（→ P14 ⓫）より出力されます。

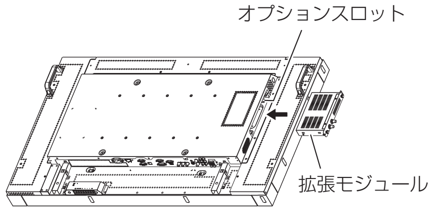


拡張モジュールを取り付ける

[必要に応じて]

拡張モジュールを取り付ける

拡張モジュールの説明書に記載されている注意と手順にしたがって、本機のオプションスロットへ取り付けてください。



対応する拡張モジュール例：
・SDI 受信 BOX（DP-1SDI-3G）
・OPS 対応コンピューター（市販）
推奨コンピューター（市販）：
アドバンテック社 ARK-DS220F-MTSA1E

お願い

各モジュールの対応状況は、使用するモジュールのメーカーにお問い合わせください。

【ミニ解説】

Intel® OPS（Open Pluggable Specification）は、Intel 社が提唱する、デジタルサイネージ向けディスプレイに装着するプラガブルモジュール（Pluggable Module）とディスプレイのインターフェースに関する規格です。

サポートしている OPS 対応機能：
・DVI-D　　・電源制御
・UART

お知らせ

オプションスロットに拡張モジュールを装着した場合は、OSD 機能の「詳細設定 1」のパワーセーブを「ON」に設定しても、本機はスリープモードになりません。他の映像入力に切り替えても、スリープモードになりません。

→ P34、P52

SDI で長距離接続や複数接続をする

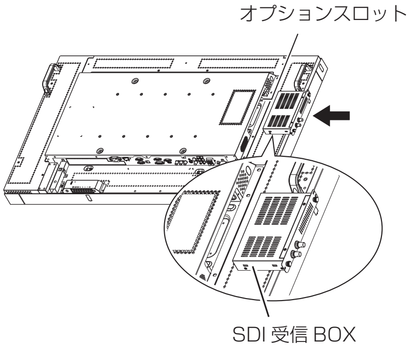
1 SDI 受信 BOX をディスプレイへ取り付ける

1. ディスプレイの主電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。

⚠警告

必ず、電源コードを抜いてください。故障や感電の原因になることがあります。

2. ディスプレイのオプションスロットのカバーを外します。
プラスドライバーでネジを外すと、カバーが容易に外れます。ネジは手順 4 で使用します。
3. SDI 受信 BOX（オプション）をオプションスロットに挿入します。



お願い

位置や向きを十分に確認して、最後まで挿入してください。位置や向きを間違えると、機器が破損する恐れがあります。

4. 取り付けネジ（2 本）でとめます。
脱落しないように、手順 2 で外したネジでしっかりと固定してください。

2 SDI で接続する

接続方法には、主に 2 つの方法があります。

1）1 台のディスプレイと接続する場合

1. 映像機器と SDI 受信 BOX（オプション）を SDI ケーブル（BNC）（市販）で接続します。

お知らせ

SDI 信号にも使用可能な高性能の BNC ケーブルを SDI ケーブルと呼び、他の BNC ケーブルと区別しています。

2）複数のディスプレイと接続する場合

1. 2-1) の接続の追加で、市販の SDI ケーブル（BNC）を使用して、1 台目の SDI 出力コネクターと 2 台目の SDI 入力コネクターを接続します。

お知らせ

接続できるケーブルの長さ（SDI 受信 BOX（DP-1SDI-3G）装着時）は、以下のとおりです。

● 1 台の場合：100 m（3G-SDI）*
　* 当社推奨ケーブルを用いた実測結果に基づきます。（推奨ケーブル：Belden 社 1694A）

お知らせ

SDI 受信 BOX の接続方法と仕様は、SDI 受信 BOX のカタログや取扱説明書をご覧ください。

SDI 受信 BOX を取り外す

SDI 受信 BOX は、SDI 受信 BOX のハンドルを持って取り外します。

⚠注意

SDI ケーブル（BNC）を引っ張って取り外すと、SDI ケーブル（BNC）や SDI 受信 BOX が破損または故障する恐れがあります。

OPS 対応コンピューターを装着する

お願い

すべての OPS 対応コンピューターの動作を保証するものではありません。

市販コンピューター例：
　アドバンテック社 ARK-DS220F-MTSA1E

OPS 対応コンピューター装着時は、冷却ファンを ON にしてください。→ P52

1 OPS 対応コンピューターをディスプレイへ取り付ける

1. ディスプレイの主電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。

   ⚠警告

   必ず、電源コードを抜いてください。故障や感電の原因になることがあります。

2. ディスプレイのオプションスロットのカバーを外します。
   プラスドライバーでネジを外すと、カバーが容易に外れます。ネジは手順 4 で使用します。
3. OPS 対応コンピューター（市販）をオプションスロットに挿入します。

   お願い

   位置や向きを十分に確認して、最後まで挿入してください。位置や向きを間違えると、機器が破損する恐れがあります。

4. 取り付けネジ（2 本）でとめます。
   脱落しないように、手順 2 で外したネジでしっかりと固定してください。

OPS 対応コンピューターの取り外し方

OPS 対応コンピューターは、OPS 対応コンピューターのハンドルを持って取り外します。

⚠注意

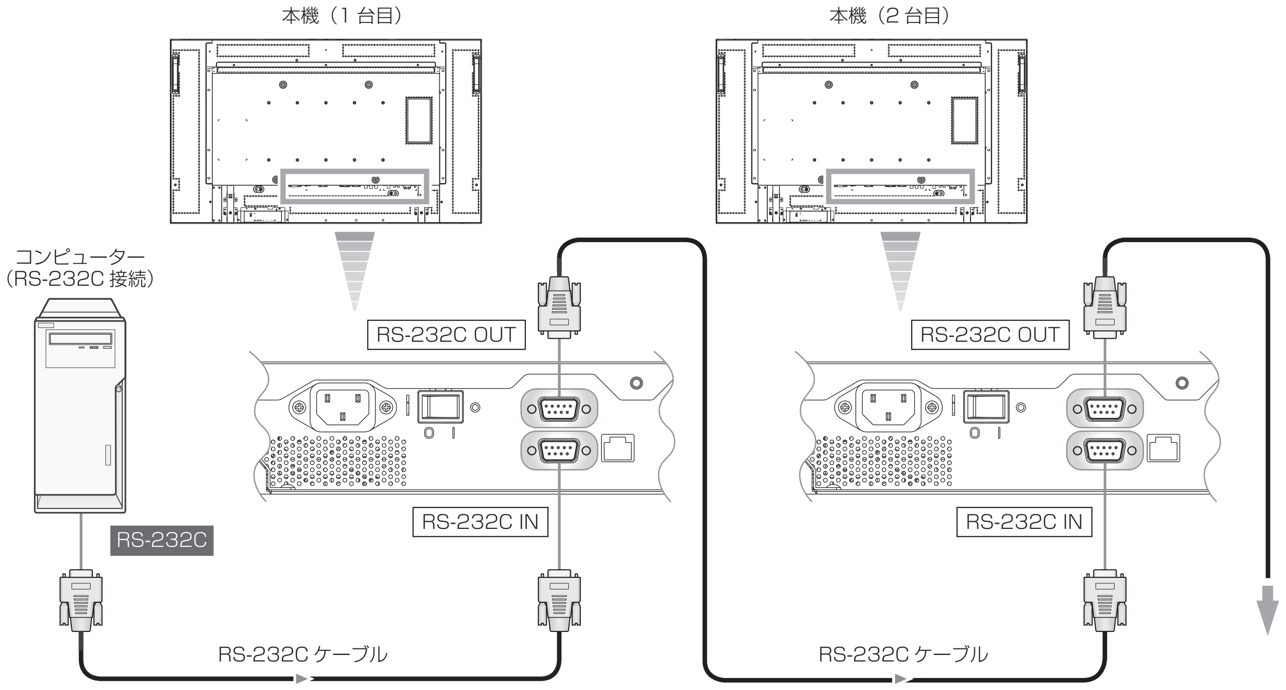
OPS 対応コンピューターに接続されたケーブルを引っ張って取り外すと、ケーブルや OPS 対応コンピューターが破損または故障する恐れがあります。

RS-232C を接続する

本機をコンピューターから通信制御するために、本機とコンピューターを RS-232C ケーブル（市販）で接続します。

接続方法

- コンピューターと本機の主電源スイッチを切ってください。電源を入れたまま作業すると、各機器の故障の原因になります。
- コンピューターと本機を、リバースタイプの RS-232C ケーブル (市販) で接続します。
- 更に、下図のように、本機を 2 台以上用いる場合、まず、1 台目の本機の RS-232C OUT と 2 台目の本機の RS-232C IN を、リバースタイプの RS-232C ケーブル (市販) で接続します。順次同じように接続して、デイジーチェーン接続できます。



お知らせ

コンピューターのシリアル通信ポートが 25 ピンシリアルポートのみの場合には、接続するために変換アダプター（市販）が必要です。

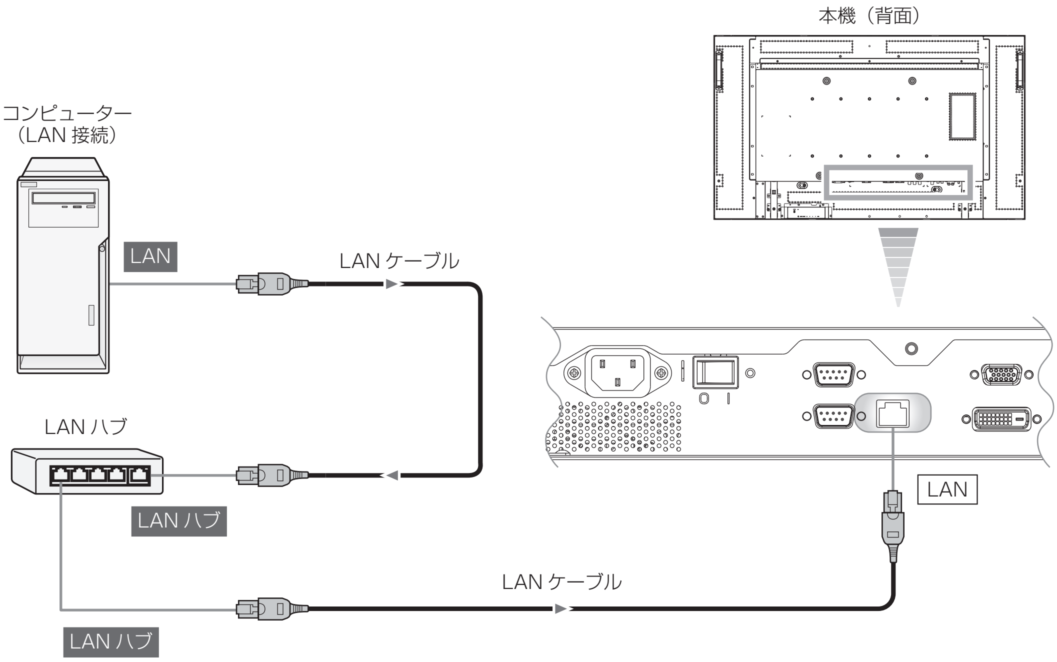
[準備 7] LAN を接続する　[必要に応じて]

LAN を接続する

下図のように、LAN ハブを経由して、本機とコンピューターをネットワーク接続できます。本機と LAN ハブはストレートタイプの LAN ケーブル（市販）で接続します。

接続方法

- コンピューターと本機の主電源スイッチを切ってください。電源を入れたまま作業すると、各機器の故障の原因になります。
- コンピューターと LAN ハブを、ストレートタイプの LAN ケーブル（市販）で接続します。
- 本機と LAN ハブを、ストレートタイプの LAN ケーブル（市販）で接続します。
- 本機を 2 台以上用いる場合、上記同様に本機と LAN ハブをストレートタイプの LAN ケーブル（市販）で接続します。



お知らせ

- クロスタイプの LAN ケーブル (市販) を用いると、LAN ハブを介さずに本機とコンピューターを 1 対 1 で接続できますが、コンピューターが対応していない場合があります。事前に動作確認されることを推奨します。
- LAN を介した映像伝送機能には対応していません。他のディスプレイを制御するホスト機能はありません。

[準備 8] 電源コードを本機に接続する

電源を接続する

お願い

- コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。（2.2 A 以上必要です。）
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに差し込んでください。
- 電源コードの抜き差しは短時間に繰り返さないでください。

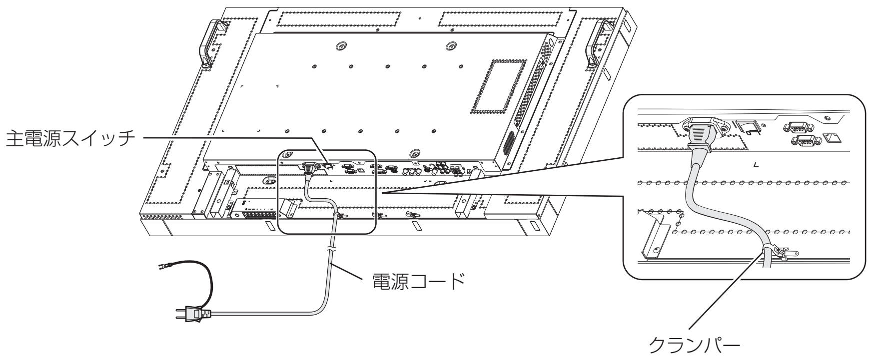
1 主電源スイッチが「切」（○）の状態になっていることを確認する

⚠注意

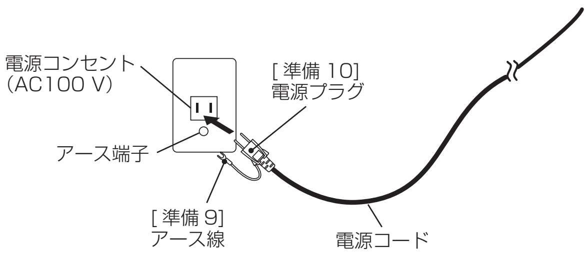
OPS 対応コンピューターを装着している場合、本機の主電源スイッチが「入」（ | ）になっていると、電源の接続によってコンピューターの電源が起動することがあるため、OS やハードディスクなどが破損または故障する恐れがあります。

2 電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクターに差し込む

奥までしっかりと差し込んでください。



[準備 9] 電源プラグのアース線を接続する
[準備 10] 電源プラグを AC100 V 電源コンセントに接続する



お願い

- 電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。

⚠警告

- **表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。**
- **本機には一般の電源コンセント（AC100 V）でお使いいただくための電源コードを付属しております。AC100 V 以外（最大 AC240 V）でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。**
- **本機に付属している電源コードは本機専用です。安全のため、他の機器には使用しないでください。**
- **電源プラグのアース線は必ず電源コンセントのアース端子などへ接続してください。なお、アース線をアース端子から外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてからおこなってください。また、電源プラグのアース線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因になります。**
- **電源コンセントの近くにアース端子がないときは、専門の資格を持つ電気工事事業者へ工事を依頼してください。アース線をガス管に接続すると爆発したり、水道管に接続すると十分アースされずに感電したりするなどの事故が発生する恐れがあります。**

使用方法

使用方法の流れ

[使用 1] すべての機器の電源を「入」にする → P33

[使用 2] 映像入力を選択する → P35
リモコンまたは本体の入力切替ボタン（INPUT）で、表示したい映像入力を選択します。

[使用 3] 外部機器を操作する → P36
接続した外部機器の映像を画面に映します。

[使用 4] 言語を選択する → P36
OSD 機能の「詳細設定 1」の言語選択で、使用する言語を選択します。

D-SUB 入力の場合のみ。

[使用 5] オートセットアップをする → P37
リモコンのオートセットアップボタンを押すか OSD 機能を使って、画面サイズ、水平／垂直位置、クロック、クロック位相、ホワイトレベル、ブラックレベルを適切に自動調節します。

[使用 6] ピクチャーモードを選択する → P38
リモコンの PICTURE MODE ボタンで、表示したい映像に適切なピクチャーモードを選択します。

[使用 7] 画面を調節する → P38
OSD 機能を使って、画面位置や文字のにじみがないように調節します。

[使用 8] 映像を調節する → P39
OSD 機能を使って、ブライトネスやコントラストを調節します。

必要に応じて

[使用 9] スピーカーを選択する → P39
内蔵スピーカーまたは外部スピーカー（市販）を選択します。

[使用 10] 音量、バランスや音質を調節する → P40
リモコンまたは OSD 機能を使って音量、バランスや音質を調節します。

[使用 11] スケジュールを設定する → P41
OSD 機能を使って、ディスプレイの電源の入／切や入力切替の時刻設定をします。

[使用 12] 通信制御をする → P43
RS−232C や LAN で接続したコンピューター、または OPS 対応コンピューター（市販）で、電源の入／切や映像入力の切り替えを操作します。

[使用 1] すべての機器の電源を「入」にする

外部機器の電源を入れる

1 接続しているコンピューターやビデオデッキなどの電源スイッチを「入」にする

本機の電源を入れる

⚠注意

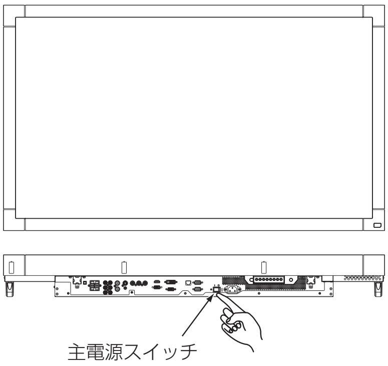
装着した拡張モジュールが OPS 対応コンピューターの場合は、本機の電源を入れるとコンピューターの電源が自動的に入り、起動します。
本機の電源を入れた後は、すぐに電源を切らないでください。コンピューターが起動中の場合があります。映像入力を［OPTION］に切り替えて、コンピューターの OS が起動するまでお待ちください。

お知らせ

一定時間内（1 分程度）にコンピューターが起動しない場合、「OPTION ERROR」とエラーメッセージが表示されます。コンピューターの取扱説明書を参照ください。→ P63

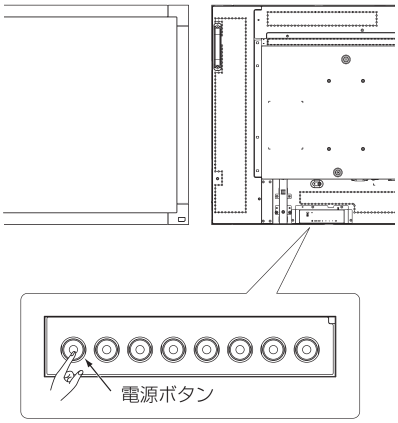
2 主電源スイッチを「入」（ I ）にする

電源ランプ（→ P13）が緑色に点灯し、電源が入ります。
本体背面の操作ボタンやリモコン、スケジュールの設定は、主電源スイッチが「切」（○）のとき（電源ランプが消灯）は機能しません。
主電源スイッチが「入」（ I ）になっていること（電源ランプが点灯）を確認してから操作してください。

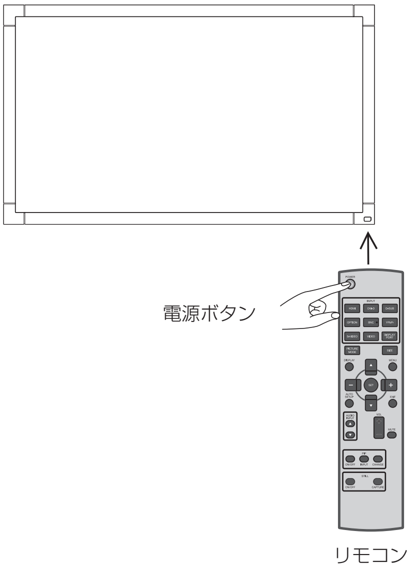


3 電源ランプが赤色点灯のときは、本機の電源ボタン（⏻）を押す

電源ランプが緑色に点灯します。



または



パワーマネージメント機能

本機の電源を入れたままでも、コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。
本機の画面が暗くなるとともに電源ランプ（→ P13）は緑色と赤色の同時点灯になります。
この機能は VESA DPM 対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合のみ機能します。→ P52
OSD メニューのパワーセーブで「ON」を選択すると、パワーマネージメント機能が動作します。
[RGB]：　コンピューター入力（HDMI、DVI-D、D-SUB）の同期信号がなくなると、数秒後にスリープモードになります。
[VIDEO]：ビデオ入力（YPbPr、S-VIDEO、VIDEO）の同期信号がなくなると、約 10 分後にスリープモードになります。

モード	消費電力	電源ランプ
標準	217 W	緑色点灯
スリープモード時	1 W 以下	緑色＋赤色点灯

【ミニ解説】
DPM：Display Power Management の略です。

お知らせ

- 工場出荷時は「パワーマネージメント設定（パワーセーブ）」を RGB、VIDEO ともに ON に設定しています。
- オプションスロットに拡張モジュールを装着した場合は、OSD 機能の「詳細設定 1」のパワーセーブを「ON」に設定しても、本機はスリープモードになりません。
  他の映像入力に切り替えても、スリープモードになりません。

電源ランプ

状態	LED
電源入モード時	緑色点灯
電源切モード時	赤色点灯
スケジュール待機時	赤色点灯、緑色点滅
スリープモード時	緑色と赤色が同時点灯
主電源スイッチ切	消灯
異常検出時（自己診断機能）	赤色点滅（→ P61）

[使用 2] 映像入力を選択する

リモコンまたは本体の入力切替ボタン（INPUT）で、表示したい機器が接続されている映像入力を選択します。

リモコンの入力切替ボタン（INPUT）で選択する

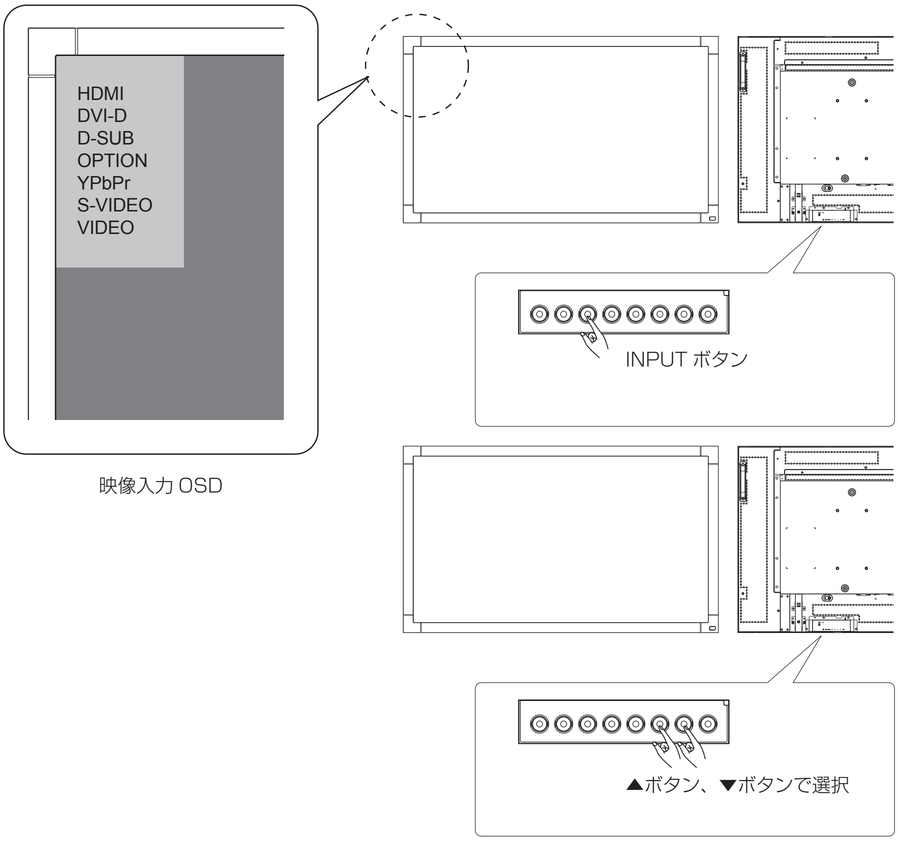
リモコンの INPUT ボタンの中から、表示したい映像入力をワンボタンで選択することができます。
映像入力は、[HDMI]、[DVI-D]、[D-SUB]、[OPTION]*、[YPbPr]、[S-VIDEO]、[VIDEO] です。
* OPTION は、オプションスロットに拡張モジュールを装着したときに使用可能です。

本体の INPUT ボタンで選択する

本体の INPUT ボタンを押すと映像入力 OSD が表示され、（▲）、（▼）ボタンで映像入力を選択することができます。
映像入力は、[HDMI]、[DVI-D]、[D-SUB]、[OPTION]*、[YPbPr]、[S-VIDEO]、[VIDEO] です。再度 INPUT ボタンを押すと、選択した映像入力が表示されます。
* OPTION は、オプションスロットに拡張モジュールを装着したときに使用可能です。

お知らせ

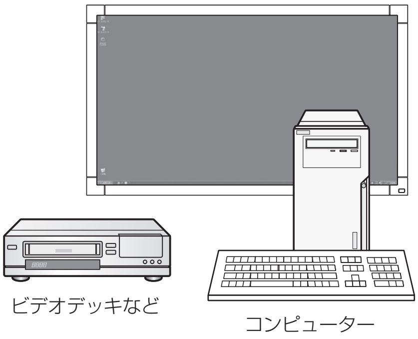
映像入力 OSD が表示されている時間内に INPUT ボタンを押さないと、設定は完了しません。映像入力 OSD の表示時間は、インフォメーション OSD の表示時間と同じになります。 → P53



映像入力 OSD

[使用 3]　外部機器を操作する

接続した外部機器を操作して、映像を画面に映します。



[使用 4]　言語を選択する

リモコンの MENU ボタンを押すか本体背面の EXIT ボタンを押して OSD 画面を呼び出します。
OSD 機能の「詳細設定 1」の言語選択で、使用する言語を選択します。 → P52

[使用5] オートセットアップをする　アナログ入力のみ

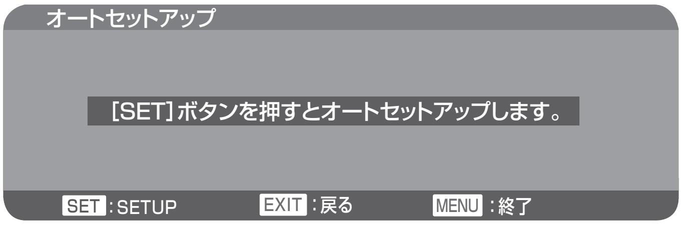
リモコンのAUTO SETUPボタンを押してOSD画面のオートセットアップメニューを直接呼び出します。
または、リモコンのMENUボタンを押すか本体背面のEXITボタンを押してOSD画面を呼び出し、「詳細設定1」のオートセットアップでオートセットアップメニューを呼び出します。
SETボタンを押して、画面サイズ、水平／垂直位置、クロック、クロック位相、入力信号レベルを適切に自動調節します。

お知らせ

D-SUBのアナログ入力のみ機能します。

オートセットアップ
直接呼び出し

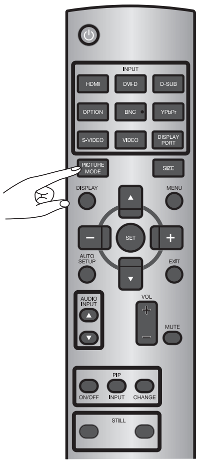
オートセットアップメニュー画面



OSD画面
呼び出し

[使用 6]　ピクチャーモードを選択する

リモコンの PICTURE MODE ボタンで、表示したい映像に適切なピクチャーモードを選択します。



HIGHBRIGHT　：ブライトネスを最も明るくします。
STANDARD　：工場出荷時の標準的な設定です。
sRGB　：sRGB 規格対応機器との色合わせに適します。
CINEMA　：映画を見るのに適します。

お知らせ

● [sRGB] は、コンピューター入力（HDMI*、DVI-D、D-SUB、OPTION（OPS 対応コンピューター装着時））のときに選択できます。
● [CINEMA] は、ビデオ入力（HDMI*、OPTION（SDI 受信 BOX 装着時）、YPbPr、VIDEO、S-VIDEO）のときに選択できます。

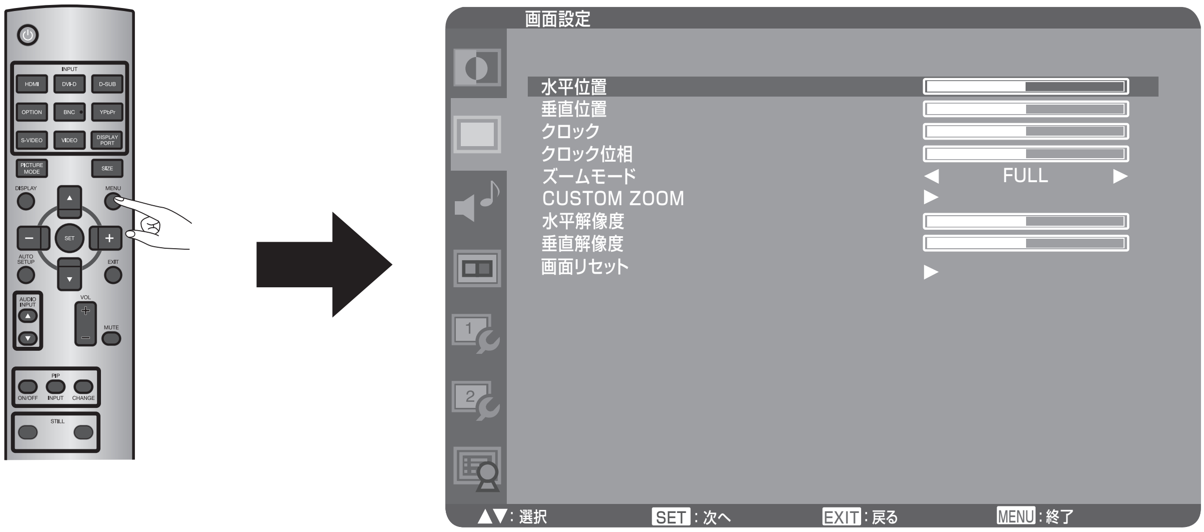
*　入力信号に応じて切り替わります。

[使用 7]　画面を調節する

オートセットアップをおこなってもうまく表示されない場合は、画面設定を調節します。
リモコンの MENU ボタンを押すか本体背面の EXIT ボタンを押して OSD 画面を呼び出します。
OSD 機能の「画面設定」で、画面の水平／垂直位置、クロック、クロック位相、ズームモード、CUSTOM ZOOM、水平解像度、垂直解像度を調節して適切な画面の状態にします。

お知らせ

位置調節は、D-SUB、YPbPr、S-VIDEO または VIDEO のみ機能します。
クロック調節と解像度調節は、D-SUB のみ機能します。
ズーム調節は、全映像入力で機能します。



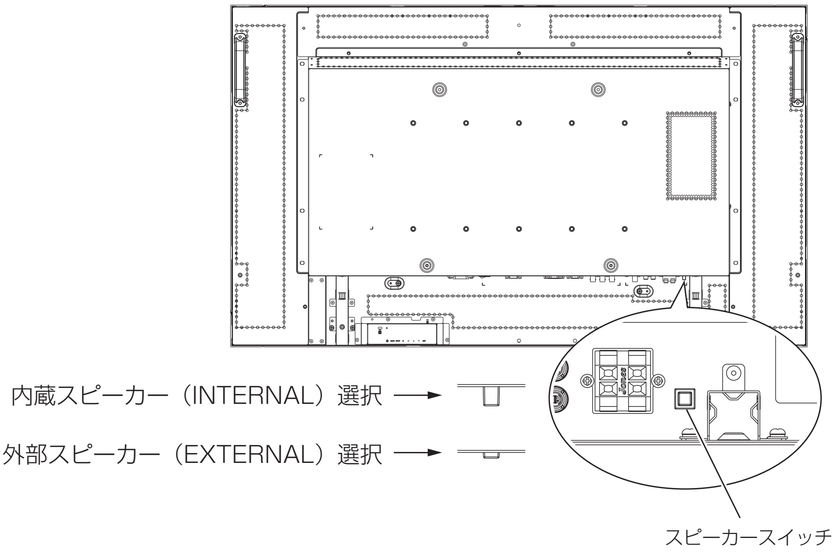
[使用 8] 映像を調節する

リモコンの MENU ボタンを押すか本体背面の EXIT ボタンを押して OSD 画面を呼び出します。
OSD 機能の「映像設定」で、ブライトネス、コントラスト、シャープネスなどをお好みの表示状態に調節します。

[使用 9] スピーカーを選択する

[必要に応じて]

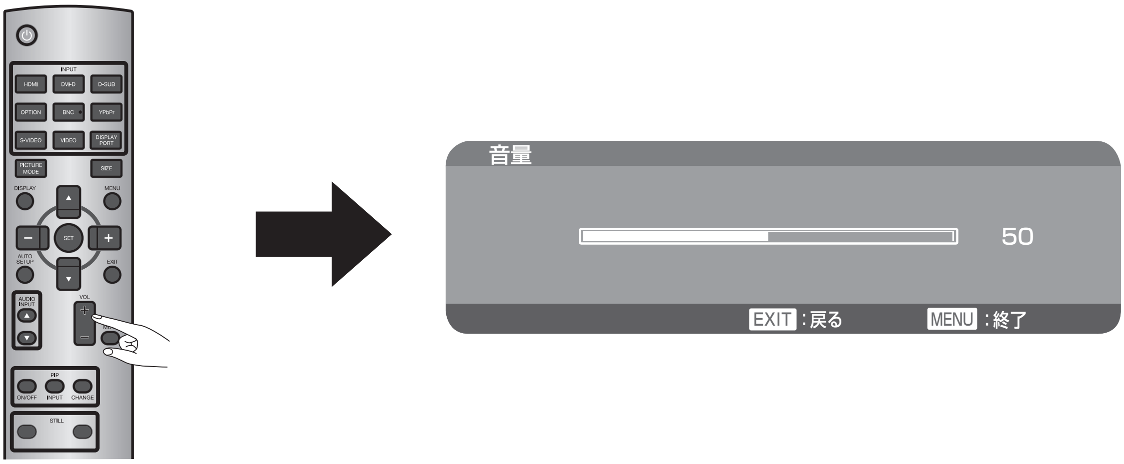
内蔵スピーカーまたは外部スピーカー（市販）を選択できます。
本体背面のスピーカースイッチを押して、スピーカーを選択してください。



[使用 10] 音量、バランスや音質を調節する [必要に応じて]

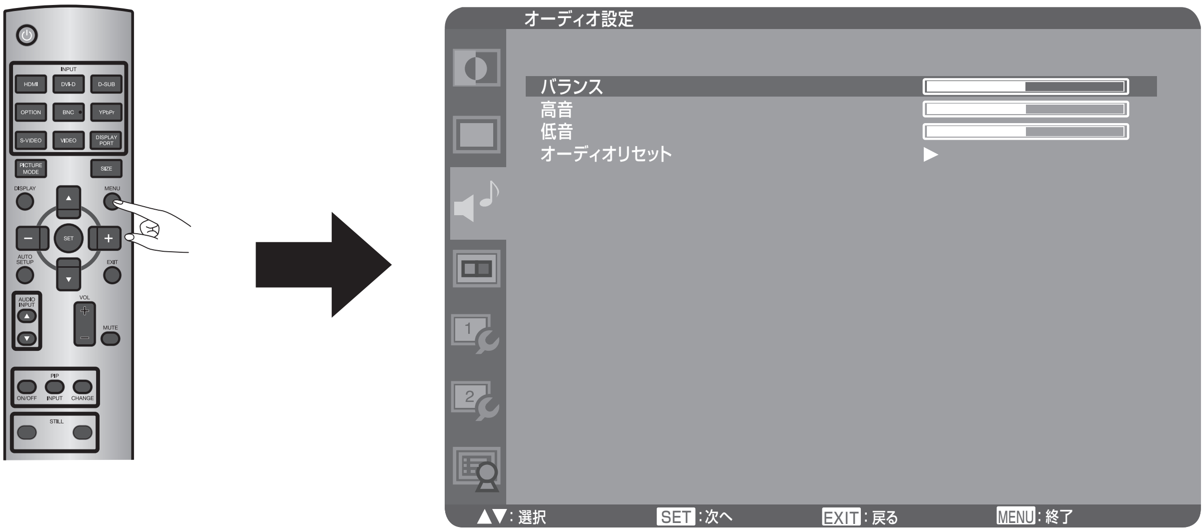
音量調節

リモコンの VOL ボタンで音量の増減ができます。



バランスや音質の調節

OSD 機能の「オーディオ設定」で、左右のバランス／高音／低音の調節ができます。
リモコンの MENU ボタンを押すか本体背面の EXIT ボタンを押して OSD 画面を呼び出し、調節してください。

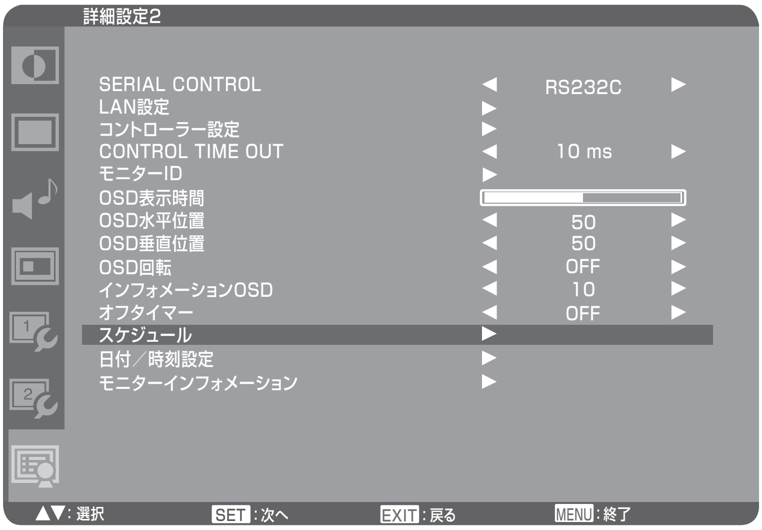


お知らせ

OPS 対応コンピューターを使用しているときに音声が出ない場合は、コンピューターの OS で音声出力の設定が本機になっているか確認してください。設定方法については、コンピューターの OS またはオーディオデバイスのドライバーのヘルプや取扱説明書をご覧ください。

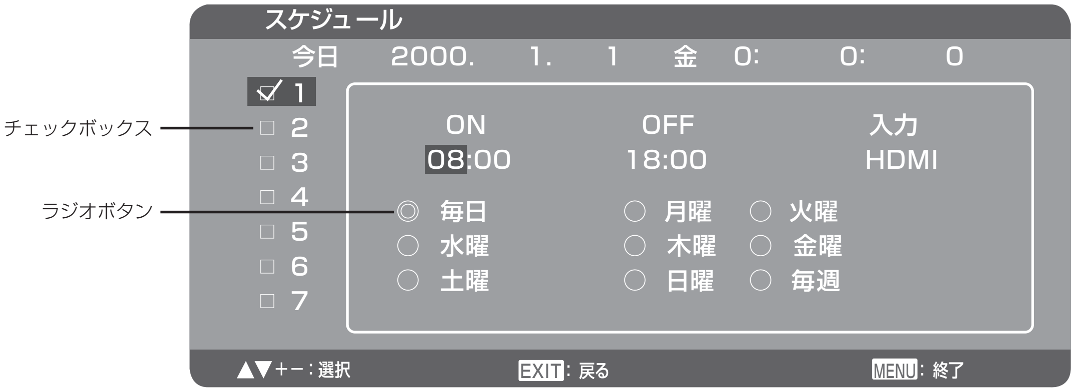
[使用 11] スケジュールを設定する　[必要に応じて]

リモコンの MENU ボタンを押すか本体背面の EXIT ボタンを押して OSD 画面を呼び出します。
OSD 機能の「詳細設定 2」のスケジュールで、電源の入／切や入力切替の時刻設定ができます。



もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
使用方法
機能
困ったとき
仕様
重要なお知らせ
さくいん

スケジュールの設定・操作方法について



プログラム番号の選択

左端のプログラム番号 1 ～ 7 のチェックボックスにカーソルがあるとき、▲▼ボタンでカーソルを上下に移動して、設定したいプログラム番号を選びます。
選択したプログラム番号を有効にするときは、SET ボタンでチェックボックスにチェックを付けます。無効にするときは、チェックを外します。

各プログラムのスケジュール設定

上記のプログラム番号にカーソルがあるときは、＋ボタンを押すと右の白枠内へカーソルが移動します。
白枠内の各項目にカーソルがあるときは、＋ボタンで右へ、－ボタンで左へカーソルが移動します。
▲▼ボタンで電源 ON ／ OFF の時刻と入力を設定したり解除したりできます。また、SET ボタンでラジオボタンにチェックを付けたり、外したりできます。

- ON ：スケジュールで電源を ON する時刻を設定します。ON 時刻を指定しない場合は「－－」を設定してください。
- OFF ：スケジュールで電源を OFF する時刻を設定します。OFF 時刻を指定しない場合は「－－」を設定してください。
- 入力 ：電源 ON 時の入力を設定します。電源 ON が実行される以前に選択されていた入力で電源 ON する場合は、「－－」を選択してください。ON 時刻と入力を設定することで、入力のみ切り替えることもできます。
- 毎日 ：設定したスケジュールを毎日実行する場合、毎日のラジオボタンにチェックを付けます。毎日を選択した場合は曜日設定・毎週の設定はできません。
- 月曜～日曜 ：スケジュールを実行する曜日のラジオボタンにチェックを付けます。「毎週」を設定しない場合、一度スケジュールを実行すると、ラジオボタンのチェックは自動的に外れます。
- 毎週 ：毎週同じ曜日にスケジュールを実行する場合は、毎週のラジオボタンにチェックを付けます。

スケジュールの確定

リモコンの MENU ボタンまたは本体背面の EXIT ボタンでスケジュールの OSD 画面を消して、スケジュールを確定します。
スケジュールの OSD 画面を消す前に電源を切ると、設定がキャンセルされることがあります。

お知らせ

- 「スケジュール」を設定する前に、必ず「日付／時刻設定」で現在日時を設定してください。
- スケジュール画面を閉じると設定したプログラムが保存されます。
- 複数のスケジュールが設定されている場合は、プログラム番号の大きいスケジュールを優先し、最後に実行したスケジュールで電源 OFF します。
- 同時刻の複数のスケジュールが重なった場合は、プログラム番号の大きいほうが優先されます。
- ON 時刻と OFF 時刻を同一時刻には設定できません。
- オフタイマーが「ON」に設定されている場合は、スケジュール設定を無視します。
- 主電源スイッチやブレーカー、停電などで AC 電源が切れている状態では、設定したスケジュールは実行されません。

通信制御をする

RS-232C リモートコントロールについて

本機とコンピューターを RS-232C ケーブル（市販）で直接接続すると、次のような操作を通信で制御できます。
・電源の入切　・入力の切り替え　・音量調節／ミュート　・オートセットアップ　・本機の内部温度の確認　など

お知らせ

コンピューターの 25 ピンシリアルポートと接続する場合は変換アダプター（市販）が必要です。

1）インターフェース

プロトコル	RS-232C
ボーレート	9600 [bps]
データ長	8 [bit]
パリティビット	なし
ストップビット	1 [bit]
フローコントロール	なし

・ RS-232C の直接接続では、RXD、TXD および GND ラインを使用します。

2）コントロールコマンド

コマンドは下表のようにアドレスコード、ファンクションコード、データコードおよびエンドコードで構成され、操作機能ごとにコマンドの長さが異なります。

	アドレスコード	ファンクションコード	データコード	エンドコード
HEX アスキー	30h 30h '0' '0'	ファンクション	データ	0Dh '↵'

[アドレスコード]　30h 30h（アスキーコードの場合、'0' '0'）固定
[ファンクションコード]　各制御動作固有のコード
[データコード]　各制御動作固有のデータ（数値などで指定しない場合もあります。）
[エンドコード]　0Dh（アスキーコードの場合、'↵'）固定

お知らせ

- このコマンド例は、コンピューターとディスプレイを 1 対 1 のシングル接続で使用する場合の基本コマンドです。ディスプレイをマルチ接続したり、より高度に操作したい場合は、お買い上げの販売店へ通信仕様をお問い合わせください。
- ターミナルソフトウェアを使用してキータイピングによるコマンド送信をする場合は、OSD メニューの「詳細設定 2」の CONTROL TIME OUT で「2s」や「30s」を選択してください。（LAN 制御も同様です。）

3）制御シーケンス

（1） コマンドをコンピューターから本機へ送信します。（コマンドとコマンドの間隔を 600 ms 以上あけてください。）
（2） 本機はエンドコード受信後 600 ms 以内 * にリターンコマンドを送信します。正常に受信できていないときは、リターンコマンドを送信しません。(* 電源入切や入力切り替えなどの処理中は、リターンコマンドの送信が 600 ms よりも遅れることがあります。)
（3） コンピューターは、送信したコマンドが受信されたかどうかを確認するためにリターンコマンドをチェックします。必ずリターンコマンドを受信してから次のコマンドを送信してください。
（4） 本機からはリターンコマンド以外にもコマンドとは異なるコードが返信されます。RS-232C による制御シーケンスをおこなっている場合は、他のコードをコンピューター側で受け付けないでください。

[例] 電源を「入」にする。(' ' はアスキーコードの場合）

コンピューターから送信するコントロールコマンド	本機からコンピューターへ返信するリターンコマンド	コマンドの意味
30 30 21 0D '0' '0' '!' '↵'		電源を「入」にするコマンドを送信
	30 30 21 0D '0' '0' '!' '↵'	本機がコマンドを受信 （コマンドエコーバック）

4）操作コマンド
操作コマンドは本機の基本操作の設定をおこないます。ただし、信号の切り替え時には動作しない場合があります。
操作コマンドにはデータコードはありません。

操作	アスキー	HEX	操作	アスキー	HEX
電源を「入」にする。	!	21h	映像入力を [VIDEO] に切り替える。	_v1	5Fh 76h 31h
電源を「切」にする。	"	22h	映像入力を [YPbPr] に切り替える。	_v2	5Fh 76h 32h
電源を強制的に「切」にする。*	""	22h 22h	映像入力を [S-VIDEO] に切り替える。	_v3	5Fh 76h 33h
映像入力を [HDMI] に切り替える。	_r1	5Fh 72h 31h	音量を大きくする。	r06	72h 30h 36h
映像入力を [DVI-D] に切り替える。	_r2	5Fh 72h 32h	音量を小さくする。	r07	72h 30h 37h
映像入力を [D-SUB] に切り替える。	_r3	5Fh 72h 33h	オートセットアップをする。	r09	72h 30h 39h
映像入力を [OPTION]** に切り替える。	_r5	5Fh 72h 35h	音声をミュートする。	ra6	72h 61h 36h

* OPS 対応コンピューターが応答しないときに使用します。
** OPTION は、オプションスロットに拡張モジュールを装着したときに使用可能です。

- 電源の「入」または「切」コマンドと次のコマンドとの間隔を、7 秒間以上あけてください。
- 映像入力の各切り替えコマンドと次のコマンドとの間隔は、5 秒以上あけることを推奨します。600 msec 以内に応答しない場合があります。
- 電源切モードのときは、電源「入」の操作コマンドと、次項に示す電源状態の読み出しコマンドのみ動作します。
- スリープモードのときは、電源「入」および電源「切」の操作コマンドと、次項に示す電源状態の読み出しコマンドのみ動作します。
  - ・拡張モジュールを装着していないときは、電源を強制的に「切」にする操作コマンドは使用できません。
  - ・拡張モジュールを装着しているときは、すべての入力コネクターはスリープモードにはなりません。
- 電源を強制的に「切」にする操作コマンドは、拡張モジュールが応答しないときに使用します。

5）状態の読み出し方法
コンピューターからは、データコードを付加せずに送信します。
一方、コマンドを受け取った本機は現在の動作状態をデータコードとして付加し、送信します。

[例] 電源の状態を確認すると、電源が ON であった場合。

コンピューターから送信するコントロールコマンド	本機からコンピューターへ返信するリターンコマンド	コマンドの意味
30 30 76 50 0D '0' '0' 'v' 'P' '↵'		電源状態を確認するコマンドを送信
	30 30 76 50 31 0D '0' '0' 'v' 'P' '1' '↵'	本機の電源状態が電源 ON である

読み出しコマンドの構成

			ASCII		HEX	
			ファンクション	データ（受信）	ファンクション	データ（受信）
電源	ON		vP	1	76 50	31
	OFF（Sleep）		vP	0	76 50	30
入力	HDMI		vI	r1	76 49	72 31
	DVI-D		vI	r2	76 49	72 32
	D-SUB		vI	r3	76 49	72 33
	OPTION*		vI	r5	76 49	72 35
	VIDEO		vI	v1	76 49	76 31
	YPbPr		vI	v2	76 49	76 32
	S-VIDEO		vI	v3	76 49	76 33
内部温度	Main ボード付近の温度	分解能 1℃	tc1	（例）＋ 25	74 63 31	2B 20 32 35
	電源付近の温度	分解能 1℃	tc2	（例）＋ 31	74 63 32	2B 20 33 31

* OPTION は、オプションスロットに拡張モジュールを装着したときに使用可能です。

お知らせ

OPS 対応コンピューターからの電源「入」／「切」の操作コマンドに応答はしますが、電源「入」／「切」の動作はしません。これは故障ではありません。自動運転する場合は、OSD 機能の「詳細設定 2」のスケジュールをご活用ください。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
使用方法
機能
困ったとき
仕様
重要なお知らせ
さくいん

LAN リモートコントロールについて

本機とコンピューターを LAN ハブ (HUB) および LAN ケーブルで接続 → P30 し、OSD 機能の「詳細設定 2」の LAN 設定でネットワークを設定 → P53 すると、RS-232C と同じコマンドを用いて、遠隔操作できます。

1．設定手順

(1) OSD メニューで、以下のネットワークパラメーターを設定します。→ P53
　・DHCP クライアント、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルト GATEWAY

(2) コンピューターのアプリケーションソフトウェアでソケット通信をするために、上記の IP アドレスとポート番号（63007 または 3007）をアプリケーションに設定します。

(3) コンピューターから、RS-232C と同じ操作コマンドを TCP/IP プロトコル通信で送信します。

(4) ディスプレイから送信されるリターンコマンドをコンピューターで受信して確認し、正常に受信できれば完了です。

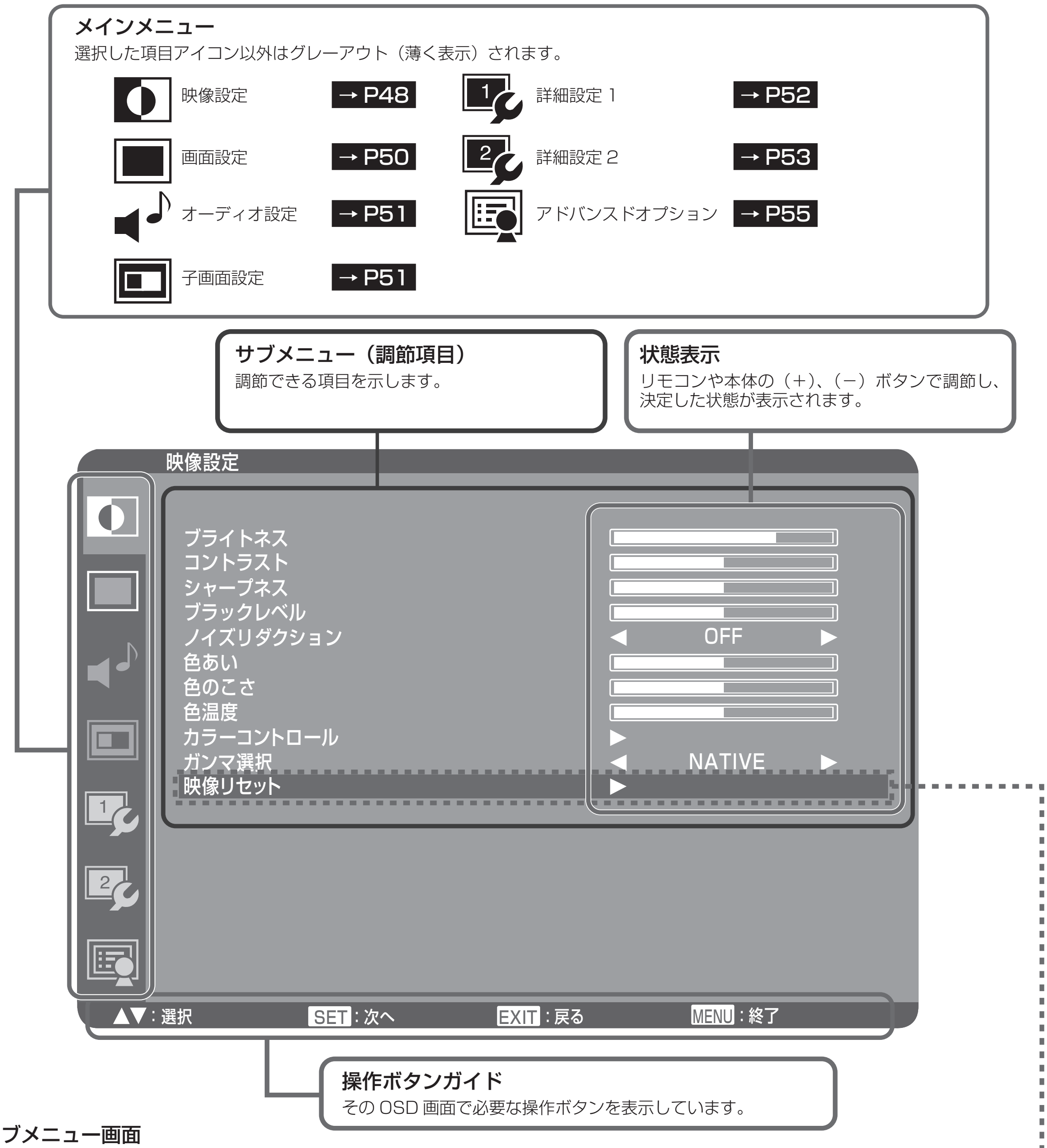
もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
使用方法
機能
困ったとき
仕様
重要なお知らせ
さくいん

OSD 画面の構成と基本操作

OSD 画面の構成

本機には画面の調節が簡単にできる OSD（On Screen Display）機能がついています。OSD 機能により画面上に表示されるメニューを操作し、明るさなどの画面調節や、その他の設定をおこないます。
OSD 画面は、以下に示すような構成になっています。

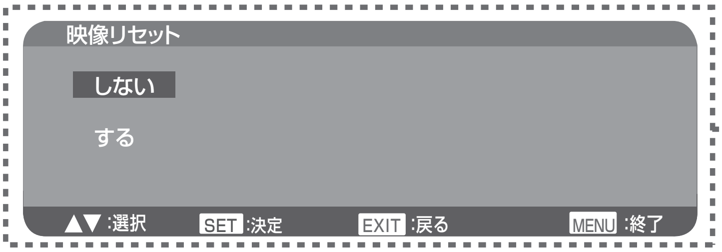
メインメニュー画面



サブメニュー画面

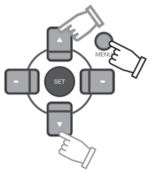
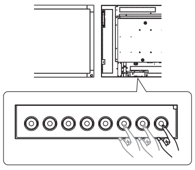
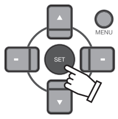
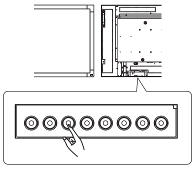
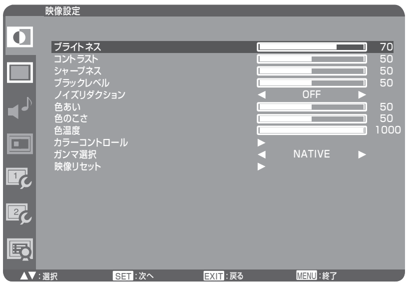
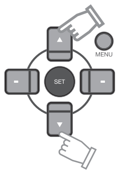
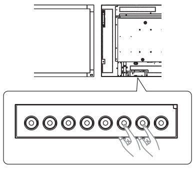
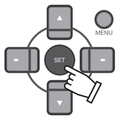
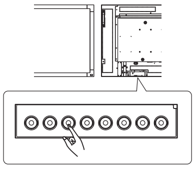
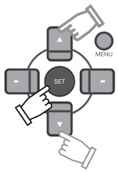
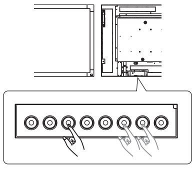
サブメニューを選択すると、表示される OSD 画面です。
情報画面や調節メニュー画面および下図のような選択メニュー画面などで構成されています。

サブメニュー画面：映像リセットの例



OSD の基本操作

電源ランプが緑色に点灯し、本機の電源が入っていることを確認してください。

手順	リモコン操作	本体ボタン操作	OSD 画面の状態
1	 MENU ボタンを押して OSD 画面を表示し、▲▼ボタンを押してメインメニューを選択する	 EXIT ボタンを押して OSD 画面を表示し、▲▼ボタンを押してメインメニューを選択する	
2	 SET ボタンを押してメインメニューを決定すると、サブメニューの先頭が選択される	 INPUT ボタンを押してメインメニューを決定すると、サブメニューの先頭が選択される	
3	 ▲▼ボタンを押してサブメニューを選択する	 ▲▼ボタンを押してサブメニューを選択する	
4	 SET ボタンを押してサブメニューを決定する	 INPUT ボタンを押してサブメニューを決定する	
5	 ▲▼ボタンを押して選択し、SET ボタンで決定する	 ▲▼ボタンを押して選択し、INPUT ボタンで決定する	

リモコンの MENU ボタンを 1 回または本体の EXIT ボタンを 3 回押すと、OSD 画面が消えます。

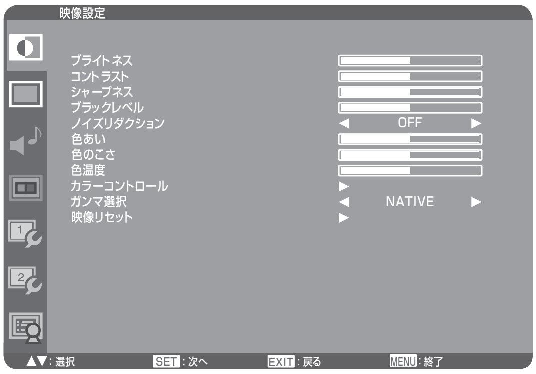
お知らせ

上記の例以外にも、＋－ボタンで選択および調節する項目があります。
OSD 画面下側の操作ボタンガイドにしたがって操作してください。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
使用方法
機能
困ったとき
仕様
重要なお知らせ
さくいん

OSD 画面と機能

映像設定



■ ブライトネス

明るさを調節します。
＋ボタンを押すと明るくなります。
－ボタンを押すと暗くなります。

■ コントラスト

コントラストを調節します。
＋ボタンを押すと明るくなります。
－ボタンを押すと暗くなります。

お知らせ

ブライトネスはバックライトの発光輝度を変えます。コントラストは信号レベルを変えるので、白くつぶれることがあります。

■ シャープネス

シャープネスを調節します。
＋ボタンを押すとシャープになります。
－ボタンを押すとソフトになります。

お知らせ

設定を上げすぎて画像が二重になった場合は、設定値をやや下げてください。

■ ブラックレベル

映像の暗い部分の明るさを調節します。
＋ボタンを押すと映像の暗い部分が明るくなります。
－ボタンを押すと映像の暗い部分が更に暗くなります。

注）ピクチャーモードの sRGB では機能しません。
→ P38

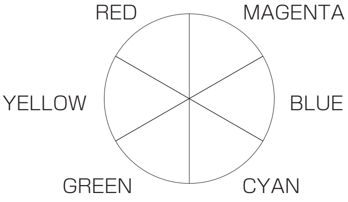
■ ノイズリダクション

＊ YPbPr、S-VIDEO、VIDEO 入力の場合のみ有効です。

ノイズリダクションレベルを調節します。
＋ボタンを押して、調節値を大きくするとノイズが少なくなります。

■ 色あい

リモコンの SET ボタンで決定すると、色あい設定画面になり、以下が調節できます。
【色あい】：全色を同時に調節します。＋ボタンを押すと緑がかった色になります。－ボタンを押すと紫がかった色になります。
【赤色 (RED)】、【紫色 (MAGENTA)】、【青色 (BLUE)】、【水色 (CYAN)】、【緑色 (GREEN)】または【黄色 (YELLOW)】：各色を個別に調節します。＋ボタンを押すと色彩チャート上の各選択色が右回りの隣の色に近づきます。－ボタンを押すと左回りの隣の色に近づきます。



色彩チャート

注）ピクチャーモードの sRGB では機能しません。
→ P38

■ 色のこさ

リモコンの SET ボタンで決定すると、色のこさ設定画面になり、以下が調節できます。
【色のこさ】：全色を同時に調節します。＋ボタンを押すと色が濃くなります。－ボタンを押すと色が薄くなります。
【赤色 (RED)】、【紫色 (MAGENTA)】、【青色 (BLUE)】、【水色 (CYAN)】、【緑色 (GREEN)】または【黄色 (YELLOW)】：各色を個別に調節します。＋ボタンを押すと色が濃くなります。－ボタンを押すと色が薄くなります。

注）ピクチャーモードの sRGB では機能しません。
→ P38

■ 色温度

色温度を調節します。
色温度を低くすると画面が赤っぽくなり、高くすると画面が青っぽくなります。

注）ピクチャーモードの sRGB では機能しません。
→ P38

■ **カラーコントロール**

赤色、緑色、青色のレベルをカラーバーで調節します。
R：赤　G：緑　B：青

注）ピクチャーモードの sRGB では機能しません。
→ P38

■ **ガンマ選択**

ガンマを選択します。
ネイティブ／ S ガンマ／ 2.2 ／ 2.4 ／オプション／プログラマブル

プログラマブル：外部制御により設定されたガンマ

お知らせ

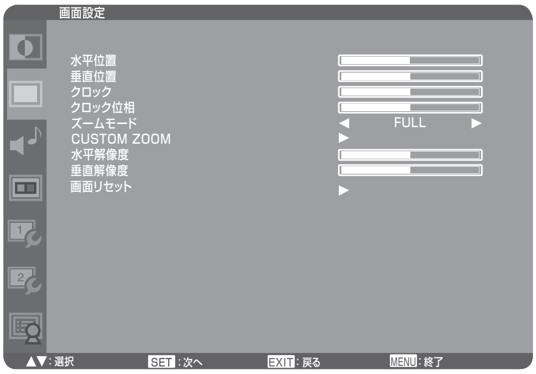
- ピクチャーモードの sRGB では、2.2 固定となります。
- プログラマブルが選択されているときは、色温度設定は 10,000K（ネイティブ）に固定されます。
- プログラマブルのガンマデータを設定するためのソフトウェアは、お客様にて作成していただく必要があります。制御ソフトウェア作成のための通信コマンド仕様については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ **映像リセット**

映像設定がすべて工場設定の状態に戻ります。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
使用方法
機能
困ったとき
仕様
重要なお知らせ
さくいん

画面設定



■ 水平位置

画面の水平位置を調節します。
＋ボタンを押すと画面が右へ移動します。
－ボタンを押すと画面が左へ移動します。

■ 垂直位置

画面の垂直位置を調節します。
＋ボタンを押すと画面が上へ移動します。
－ボタンを押すと画面が下へ移動します。

■ クロック

＊ D-SUB 入力の場合のみ有効です。

コンピューターの画面サイズや文字のにじみを調節します。
＋ボタンを押すと画面が右へ拡がります。
－ボタンを押すと画面が左へ縮みます。

■ クロック位相

＊ D-SUB 入力の場合のみ有効です。

画面のちらつきが周期的に変化するレベルを調節します。

■ ズームモード

画面に合うように映像を拡大する方式を設定できます。
HDMI、DVI-D、D-SUB の場合は、FULL、NORMAL、CUSTOM、REAL が選択可能です。
YPbPr、S-VIDEO、VIDEO の場合は、FULL、NORMAL、DYNAMIC、CUSTOM、REAL が選択可能です。

FULL　　：映像のアスペクトとは無関係に画面の上下左右最大に映像を拡大表示します。
NORMAL　：映像のアスペクトを維持しながら、画面の上下最大に映像を拡大表示します。
DYNAMIC ：画面中央部と外側で拡大比率を変えて、自然なワイド表示にできます。
CUSTOM　：CUSTOM ZOOM 項目で上下左右お好みに調節できます。
REAL　　：拡大／縮小しないで表示します。

注）解像度 1920 × 1080 などのアスペクト比が 16:9 の映像の DYNAMIC 表示は、FULL 表示と同じです。

■ CUSTOM ZOOM

ズームモードで CUSTOM を選択した場合、CUSTOM ZOOM が選択可能になります。
ズーム　　：水平／垂直を同時に拡大します。
水平ズーム：水平のみが拡大します。
垂直ズーム：垂直のみが拡大します。
水平位置　：＋で右へ移動、－で左へ移動します。
垂直位置　：＋で上へ移動、－で下へ移動します。

■ 水平解像度

＊ D-SUB 入力の場合のみ有効です。

オートセットアップやオートアジャストをしても入力信号の水平解像度に合わない場合に、調節します。
＋ボタンを押すと、解像度が高くなります。
－ボタンを押すと、解像度が低くなります。

■ 垂直解像度

＊ D-SUB 入力の場合のみ有効です。

オートセットアップやオートアジャストをしても入力信号の垂直解像度に合わない場合に、調節します。
＋ボタンを押すと、解像度が高くなります。
－ボタンを押すと、解像度が低くなります。

■ 画面リセット

画面設定が工場設定の状態に戻ります。

オーディオ設定

■ **バランス**

左右の音声バランスを調節します。
＋ボタンを押すと左側の音が小さくなります。
－ボタンを押すと右側の音が小さくなります。

■ **高音**

高音域の音量を調節します。
＋ボタンを押すと高い音が強くなります。
－ボタンを押すと高い音が弱くなります。

■ **低音**

低音域の音量を調節します。
＋ボタンを押すと低い音が強くなります。
－ボタンを押すと低い音が弱くなります。

■ **オーディオリセット**

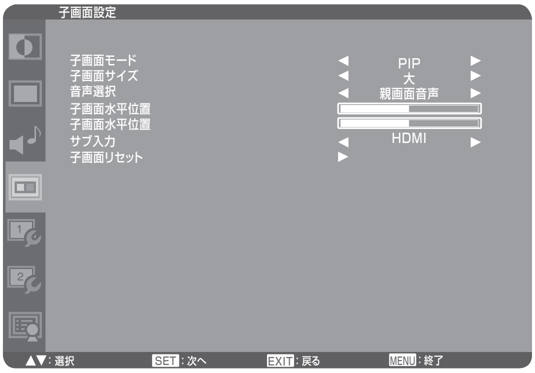
オーディオ設定が工場設定の状態に戻ります。

子画面設定

お知らせ

画面サイズが「CUSTOM」、「REAL」の場合、PIP、POP は機能しません。

詳しい制限は → P59 の PIP、POP 機能を確認してください。



■ **子画面モード** → P59

＋／－ボタンで、「PIP」→「POP」→「SBS ASPECT」→「SBS FULL」→「OFF」の順に切り替えて選択します。

■ **子画面サイズ**

子画面モードが「PIP」のときに、子画面のサイズを選択します。
そのとき、リモコンの▲／▼／＋／－ボタンで子画面の位置を移動できます。

■ **音声選択**

子画面モードを使用しているときの音声を選択します。
「親画面音声」を選ぶと親画面の音声、「子画面音声」を選ぶと子画面の音声になります。

■ **子画面水平位置**

子画面モードが「PIP」のときに、子画面の水平表示位置を＋／－ボタンで移動調節します。

■ **子画面垂直位置**

子画面モードが「PIP」のときに、子画面の垂直表示位置を＋／－ボタンで移動調節します。

■ **サブ入力**

子画面映像入力端子を＋／－ボタンで選択します。

■ **子画面リセット**

子画面設定が工場設定の状態に戻ります。

詳細設定 1

■ オートセットアップ

＊ D-SUB 入力の場合のみ有効です。

画面サイズ、水平／垂直位置、クロック、クロック位相、ホワイトレベル、ブラックレベルを自動調節します。

■ オートアジャスト

＊ D-SUB 入力の場合のみ有効です。

「ON」を選択すると、タイミング切り替え時に水平／垂直位置、クロック位相を自動的に調節します。

■ パワーセーブ

「ON」を選択すると、パワーマネージメント機能（パワーセーブ）が動作します。

[RGB]：コンピューター入力（HDMI、DVI-D、D-SUB）の同期信号がなくなると、数秒後にスリープモードになります。

[VIDEO]：ビデオ入力（YPbPr、S-VIDEO、VIDEO）の同期信号がなくなると、約 10 分後にスリープモードになります。

お知らせ

オプションスロットに拡張モジュールを装着した場合は、「ON」に設定しても、本機はスリープモードにならず、無効です。他の映像入力に切り替えても、スリープモードになりません。

■ 言語選択

OSD に使用する言語を選択します。
英語、ドイツ語、スペイン語、フランス語、イタリア語、スウェーデン語、中国語、日本語のいずれかが設定できます。

■ スクリーンセーバー

スクリーンセーバーを設定します。
本機能は液晶パネルにかかる負担を軽減させるものです。

お知らせ

「長くご使用いただくために」→ P66 をご覧ください。

【ガンマ】
（残像軽減機能）「ON」を選択すると残像になりにくいガンマに切り替わります。

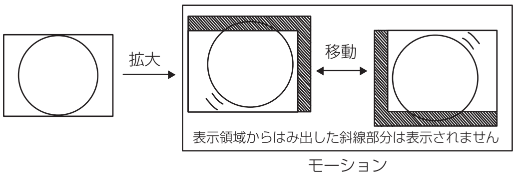
【冷却ファン】
「ON」を選択すると内蔵ファンが常時動作します。
「AUTO」を選択すると使用される環境温度に応じて、自動的に内蔵ファンが動作します。→ P64

【ブライトネス】
「ON」を選択するとブライトネスを下げます。

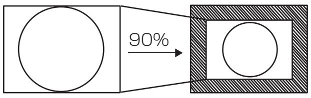
【モーション】
設定した時間で画面がわずかに上下左右に周期的に移動することにより液晶パネルの残像を軽減させます。

お知らせ

モーションで時間を設定した場合は、画面を拡大し、上下左右に移動するため、表示領域からはみ出した部分は表示されません。
常に表示したい内容は、画面中心の 90%程度の範囲におさまるように作成願います。



モーション



■ カラーシステム

＊ S-VIDEO、VIDEO 入力の場合のみ有効です。

使用するビデオ機器の映像信号フォーマットを選択します。

AUTO	：NTSC、PAL、SECAM、4.43 NTSC あるいは PAL60 のビデオ入力方式により自動的に選択します。
NTSC	：NTSC フォーマット
PAL	：PAL フォーマット
SECAM	：SECAM フォーマット
4.43 NTSC	：4.43 NTSC フォーマット
PAL-60	：PAL60 フォーマット

お知らせ

海外で購入されたビデオ機器を使用する場合は、カラーシステムメニューを設定してください。

■ サイドパネル

4：3 画面をズームモードの NORMAL や子画面モードの POP などで表示するときの画像がない部分の明るさを調節します。

■ 詳細設定リセット

詳細設定 1 と詳細設定 2 で設定した内容がすべて工場設定の状態に戻ります。
ただし、言語選択、モニター ID、スケジュール、日付／時刻設定はリセットされません。

■ オールリセット

映像設定、画面設定、オーディオ設定、詳細設定 1、詳細設定 2、アドバンスドオプションの設定と、リモコンのピクチャーモードの設定が工場設定の状態に戻ります。
ただし、言語選択、CONTROL TIME OUT、モニター ID、スケジュール、日付／時刻設定、DDC/CI はリセットされません。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
使用方法
機能
困ったとき
仕様
重要なお知らせ
さくいん

詳細設定 2

■ SERIAL CONTROL

シリアル通信機能に使用する通信インターフェース（RS-232C、OPS（OPS 対応コンピューター装着時）または LAN）を選択します。
信号ケーブルの接続については、→ P27 ～ P30 をご覧ください。

■ LAN 設定

LAN ネットワークの通信パラメーターを設定します。

【DHCP クライアント】
DHCP クライアントの使用要否を設定します。OFF で不使用、ON で使用に設定します。

【IP アドレス】
DHCP クライアントが OFF のとき、本機の IP アドレスを設定します。
DHCP クライアントが ON のとき、DHCP サーバーが設定した値を確認できます。

【サブネットマスク】
DHCP クライアントが OFF のとき、GATEWAY（ゲートウェイ）のマスクを設定します。通常は、255.255.255.0 を設定します。
DHCP クライアントが ON のとき、DHCP サーバーが設定した値を確認できます。

【デフォルト GATEWAY】
DHCPクライアントがOFFのとき､本機を含めたローカルエリアから外につながるゲートウェイルーターの IP アドレスを設定します。
DHCP クライアントが ON のとき、DHCP サーバーが設定した値を確認できます。

【PORT NUMBER】
本機のポート番号（3007 と 63007）を確認できます。

【リセット】
LAN 設定をリセットします。

■ コントローラー設定

Crestron 社の“2 シリーズコントロールプロセッサー”を使用して本機をネットワーク制御するときに、通信パラメーターを設定します。

【CONTROLLER IP】
コントロールプロセッサーの IP アドレスを設定します。

【PORT NUMBER】
通信に使用するポート番号を設定します。

【IP ID】
IP 識別番号を設定します。

お知らせ

設定方法の詳細は、Crestron 社のコントロールプロセッサーの取扱説明書をお読みください。

■ CONTROL TIME OUT

通信制御をするときに、コントロールコマンド内での各コード間の送信間隔のタイムアウトを設定します。
10 ms：タイムアウトの間隔を 10 ミリ秒に設定します。
2 s：　タイムアウトの間隔を 2 秒に設定します。
30 s：　タイムアウトの間隔を 30 秒に設定します。

■ モニター ID

RS-232C を使ってマルチ接続した LDT462V にコントロール用の ID 番号を与えます。
ID 番号は 1 ～ 26 の間で選べます。

■ OSD 表示時間

OSD 表示時間の設定をします。
5 秒～ 120 秒の間で設定ができます。

■ OSD 水平位置

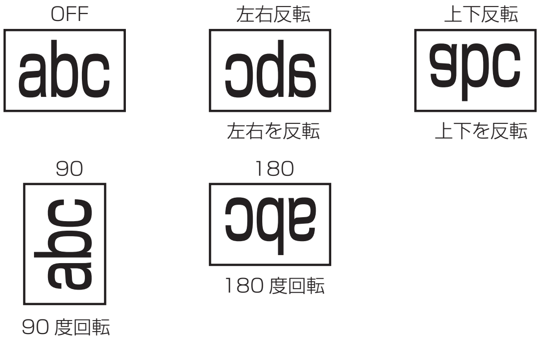
OSD メニューの水平の表示位置を調節します。

■ OSD 垂直位置

OSD メニューの垂直の表示位置を調節します。

■ OSD 回転

OSD 画面を回転します。



■ インフォメーション OSD

インフォメーション OSD 表示の「ON」「OFF」を設定します。
3 ～ 10 秒間の表示時間設定ができます。

* インフォメーション OSD 表示は入力の切り替えや入力信号の状態が変化したとき、または入力信号が異常なときに画面に表示されるメッセージです。

■ オフタイマー

オフタイマーを設定します。
自動的に電源オフするまでの時間を設定します。
設定可能時間は 1 ～ 24 時間（1 時間単位）です。

お知らせ

オフタイマーを ON にすると、スケジュール → P42 は動作しません。

■ スケジュール

液晶ディスプレイの動作スケジュールをプログラムします。→ P42

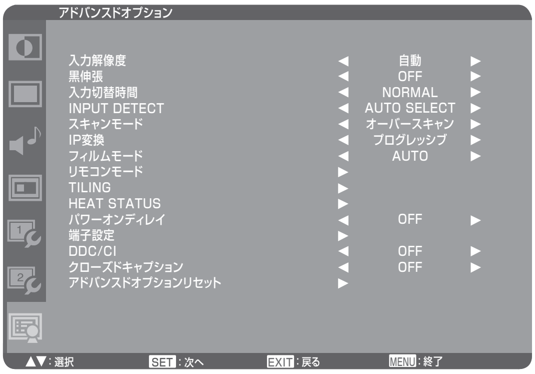
■ 日付／時刻設定

現在の日付と時刻を設定します。
スケジュール機能を使用する場合は、必ず設定してください。
設定後は必ずリモコンの SET ボタン（→ P15 ❺ボタン）を押してください。本体ボタンの場合は、INPUT ボタン（→ P13 ❺ボタン）です。

■ モニターインフォメーション

本機のモデル名とシリアルナンバーを表示します。
LAN の MAC アドレスを表示します。

アドバンスドオプション



■ 入力解像度

* D-SUB 入力の場合のみ有効です。

入力信号の解像度がうまく自動判定されなかったら、手動で適切な解像度を選択できます。
以下の 3 系列のタイミングに近い信号が入力されたときのみ、系列ごとの選択値が現れます。
系列 1 ：自動、1024 × 768、1280 × 768、1360 × 768、1366 × 768
系列 2 ：自動、1400 × 1050、1680×1050
系列 3 ：自動、1600 × 1200、1920×1200

■ 黒伸張

* HDMI（入力信号に応じて切り替わります。）、DVI-D、OPTION（SDI 受信 BOX 装着時）、YPbPr、S-VIDEO、VIDEO 入力の場合のみ設定可能です。

黒伸張のレベル「OFF」、「中」、「高」を選択します。

■ 入力切替時間

入力切替時間の設定を切り替えます。
[クイック]、[ノーマル] 設定を選択できます。

お知らせ

クイックを選択した場合、若干ノイズが見えることがあります。

■ INPUT DETECT

映像信号の有無を検知して、複数の入力を自動的に切り替えられます。

【AUTO SELECT（自動切り替え）】
DVI-D と D-SUB の入力が対象です。選択している入力の信号がなくなったときに他方の入力を確認し、入力があれば自動的に切り替えを実施します。
どちらの入力にも信号がない状態が 5 秒間継続するとスリープモードになります。
オプションスロットに SDI 受信 BOX などの拡張モジュールを装着しているときは、DVI-D でなく OPTION が対象になります。

お知らせ

- DVI-D、OPTION と D-SUB 以外の入力は選択できなくなります。
- 拡張モジュール装着時は、スリープモードになりません。

【VIDEO DETECT（ビデオ検知優先）】
HDMI、YPbPr、S−VIDEO、VIDEO と D−SUBの入力が対象です。
HDMI、YPbPr、S-VIDEO または VIDEO 入力に映像信号を検知すると、その入力に自動的に切り替わります。
表示していた映像信号がなくなると、D-SUB 入力に自動的に戻ります。

お知らせ

- DVI-D、OPTION と DisplayPort は選択できなくなります。
- 拡張モジュール装着時は、スリープモードになりません。

【OFF】
入力の自動切り替えをおこないません。

■ スキャンモード

* HDMI、YPbPr、S-VIDEO、VIDEO 入力の場合のみ有効です。

映像表示エリアを選択します。
オーバースキャン： 入力信号の約 95% を表示します。
アンダースキャン： 入力信号の約 100% を表示します。

■ IP 変換

* HDMI、YPbPr、S-VIDEO、VIDEO 入力の場合のみ有効です。

IP 変換モードを選択します。

【プログレッシブ】
インターレース信号をプログレッシブ信号に変換して表示します。通常はこちらを選択してください。

【インターレース】
インターレース信号をそのまま表示します。この機能は動画に適していますが、静止画では映像が綺麗に表示されなくなります。

■ フィルムモード

フィルムモード機能を選択します。
AUTO ：24 フレーム／秒の映像を検出し、補間処理して表示します。
OFF ：入力映像信号をそのまま表示します。

お知らせ

フィルムモードを AUTO に設定した場合は、IP 変換をプログレッシブに設定してください。 → P55

■ リモコンモード

以下の 4 モードの選択画面が表示されます。▲▼ボタンで選択し、SET ボタンで決定します。

NORMAL　：リモコン操作が有効になります。
PRIMARY　：リモコンからの制御コマンドを、他の LDT462V へ分配するモードです。先頭の LDT462V に設定します。 → P60
SECONDARY：リモコンからではなく PRIMARY からの制御コマンドを受けて、他の LDT462V へも分配するモードです。先頭以外の LDT462V に設定します。 → P60
LOCK　：リモコンをロックします。すべてのリモコン操作が無効になります。

お知らせ

リモコンの「DISPLAY」ボタンを 5 秒以上押し続けると「NORMAL」状態に戻ります。
本体背面の操作ボタンのロックとは独立しています。 → P57

■ TILING

TILING は、画面を分割拡大してマルチスクリーンで表示する機能です。同一の入力映像を水平および垂直に最大 5 分割し、25 台（5 × 5）までの複数の本機をタイル状に並べて単一画面を表示できます。

お知らせ

同一の映像信号を各々のディスプレイ（本機）へ接続することが必要です。ディスプレイ間の色あいを合わせる必要がある場合には、信号分配器（市販）のご使用を推奨します。

TILING 画面が表示されると PIP、POP、SBS、STILL は解除されます。
画面サイズが「REAL」の場合、TILING は機能しません。

H MONITORS　：水平分割数を設定します。
V MONITORS　：垂直分割数を設定します。
POSITION　：拡大表示したい部分を選択します。
FRAME COMP：画面を複数のディスプレイに分割して表示する場合、より自然に見えるようにディスプレイの繋ぎ目の表示方法を変更する機能を選択します。
ENABLE　：「ON」を選ぶと選択された位置の画面が拡大表示されます。

■ HEAT STATUS

冷却ファン、明るさ、内部温度の状況のお知らせです。

お知らせ

- 冷却ファンは使用される環境温度に応じて、またはスクリーンセーバーで冷却ファン ON を選択したときに動作します。
- 使用環境温度が保証範囲を大きく超えるとき、画面上に「TEMPERATURE WARNING」の警告が表示されます。 → P61、P64

■ パワーオンディレイ

スリープモードからの復帰時や電源 ON 時に、電源入モードになるまでの遅延時間を調節します。
遅延時間は OFF、2 秒、4 秒、6 秒、8 秒、10 秒、20 秒、30 秒、40 秒、50 秒から選択できます。

■ 端子設定

端子設定は HDMI または DVI-D の映像入力で、映像機器からの出力信号形式にあわせて適切に表示するための設定です。

HDMI 信号モード：HDMIまたはOPTION（OPS 対応コンピューター装着時）を表示するとき設定します。
（FULL）→　0 ～ 255 のフル階調を使用した信号を表示するときに選択します。
主に、コンピューター入力のとき選択します。
（LIMITED）→　RGB 各 256 階調中、16 ～ 235 階調のみを使用した信号を表示するときに選択します。
主に、ビデオ機器入力のとき選択します。

HDMI 入力モード：HDMI を表示するとき設定します。
（HDMI-HD）→ビデオ機器入力のとき選択します。
（HDMI-PC）→コンピューター入力のとき選択します。

DVI 入力モード：DVI-D を表示するとき設定します。
（DVI-PC）→　コンピューター入力のとき選択します。
（DVI-HD）→　ビデオ機器入力のとき選択します。

■ DDC/CI

DDC/CI 通信機能の ON/OFF 設定です。通常は ON でご使用してください。

■ クローズドキャプション

字幕の表示と非表示を設定できます。
OFF　：字幕非表示
CC1　：第 1 音声の同期表示
CC2　：（第 1 音声）関連情報の非同期表示
CC3　：第 2 音声の同期表示
CC4　：（第 2 音声）関連情報の非同期表示
TT1/TT2/TT3/TT4：映像と無関連な 4 種類の情報表示（例:ニュース、天気予報など）

お知らせ

本機は、米国 EIA-608-A 規格に対応します。
映像ソフトや外部映像機器が EIA-608-A 規格に適合しているか、それぞれの販売元へ事前確認してください。
実際の映像信号が適合しない場合、うまく表示されないことがあります。

【ミニ解説】

クローズドキャプション（Closed Caption）は、字幕の公開（open）と非公開（closed）を選択できる表示方式です。
反対語→オープンキャプション：映像に文字が直接描かれ、非公開にできません。

■ アドバンスドオプションリセット

アドバンスドオプションで設定した内容がすべて工場設定の状態に戻ります。
ただし、DDC/CI はリセットされません。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
使用方法
機能
困ったとき
仕様
重要なお知らせ
さくいん

その他の機能

ピクチャーサイズ

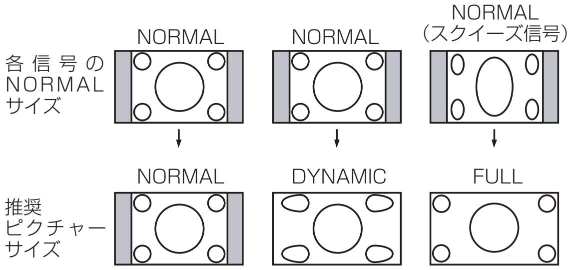
SIZE ボタンで画面サイズを選択することができます。

HDMI、DVI-D、D-SUB、OPTION（OPS 対応コンピューター装着時）選択時

FULL → NORMAL → CUSTOM → REAL（→ FULL に戻る）

OPTION（SDI 受信 BOX 装着時）、YPbPr、VIDEO、S-VIDEO 選択時

FULL → NORMAL → DYNAMIC → CUSTOM → REAL（→ FULL に戻る）



元の信号と異なる画面サイズで使用する場合は、画面に歪みが発生します。

（例）4：3 信号を FULL で表示した場合は、横長画面になります。

お知らせ

営利目的または公衆に視聴されることを目的として飲食店、ホテル等においてピクチャーサイズ機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等をおこないますと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ピクチャーモード

PICTURE MODE ボタンで、お好みの表示モードを選択することができます。

HDMI*、DVI-D、D-SUB、OPTION（OPS 対応コンピューター装着時）選択時

HIGH BRIGHT → STANDARD → sRGB（→ HIGH BRIGHT に戻る）

HDMI*、OPTION（SDI 受信 BOX 装着時）、YPbPr、VIDEO、S-VIDEO 選択時

HIGH BRIGHT → STANDARD → CINEMA（→ HIGH BRIGHT に戻る）

* 入力信号に応じて切り替わります。

コントロールロックモード

本体の操作ボタンを触っても調節した画面が変わらないように操作ボタンをロックする機能です。
本体の▼と▲ボタンを 3 秒以上の間、同時に押すとロックできます。
本体の▼と▲ボタンを 3 秒以上の間、再度同時に押すとロックを解除します。

インフォメーション OSD

リモコンの DISPLAY ボタンを押すと、選択されている映像入力端子、音声入力端子、画面サイズ等の情報が表示されます。

HDMI、DVI-D、D-SUB 選択時

表示	内容
DVI-D	DVI-D 選択時
1024 x 768 48kHz 60Hz	解像度 水平／垂直周波数
AUDIO : 1	音声情報
SIZE : FULL	ピクチャーサイズ

OPTION 選択時（SDI 受信 BOX 装着時）

表示	内容
OPTION : SDI (3G)	3G-SDI フォーマット時
1920 x 1080 67kHz 60Hz	解像度 水平／垂直周波数
AUDIO : SDI	音声情報
SIZE : FULL	ピクチャーサイズ

OPTION 選択時（OPS 対応コンピューター装着時）

表示	内容
OPTION : PC	OPTION 選択時（OPS 対応コンピューター装着時）
1920 x 1080 67kHz 60Hz	解像度 水平／垂直周波数
AUDIO : OPTION	音声情報
SIZE : FULL	ピクチャーサイズ

YPbPr 選択時

表示	内容
YPbPr	YPbPr 選択時
AUDIO : 3	音声情報
SIZE : FULL	ピクチャーサイズ

S-VIDEO、VIDEO 選択時

表示	内容
S-VIDEO	S-VIDEO 選択時
NTSC	カラーシステム
AUDIO : 3	音声情報
SIZE : NORMAL	ピクチャーサイズ

PIP、POP 選択時
親画面：DVI-D
子画面：S-VIDEO

表示	内容
DVI-D 1024 x 768 48kHz 60Hz	親画面情報
AUDIO : 1	音声情報
S-VIDEO NTSC	子画面情報
SIZE : FULL	メインピクチャーサイズ

音声入力切替

音声入力切替ボタンで音声入力を選択できます。

HDMI		HDMI ↔ AUDIO IN1 ↔ AUDIO IN2 ↔ AUDIO IN3 ↔ (HDMI)
DVI-D		AUDIO IN1 ↔ AUDIO IN2 ↔ AUDIO IN3 ↔ (AUDIO IN1)
D-SUB		AUDIO IN1 ↔ AUDIO IN2 ↔ AUDIO IN3 ↔ (AUDIO IN1)
OPTION*	音声対応あり （OPS 対応コンピューターの場合）	OPTION ↔ AUDIO IN1 ↔ AUDIO IN2 ↔ AUDIO IN3 ↔ (OPTION)
	音声対応あり （SDI 受信 BOX の場合）	SDI ↔ AUDIO IN1 ↔ AUDIO IN2 ↔ AUDIO IN3 ↔ (SDI)
	音声対応なし	AUDIO IN1 ↔ AUDIO IN2 ↔ AUDIO IN3 ↔ (AUDIO IN1)
YPbPr		AUDIO IN1 ↔ AUDIO IN2 ↔ AUDIO IN3 ↔ (AUDIO IN1)
S-VIDEO		AUDIO IN1 ↔ AUDIO IN2 ↔ AUDIO IN3 ↔ (AUDIO IN1)
VIDEO		AUDIO IN1 ↔ AUDIO IN2 ↔ AUDIO IN3 ↔ (AUDIO IN1)

* OPTION は、オプションスロットに拡張モジュールを装着した場合のみ設定可能です。

PIP、POP 機能

子画面表示機能の親画面と子画面の制限

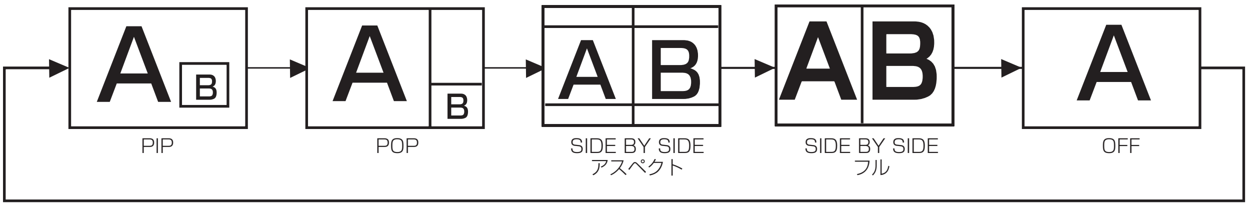
下表に示す信号入力の組み合わせのときに子画面表示機能を使用することができます。
ただし、画面サイズを「CUSTOM」、「REAL」に設定した場合は機能しません。

○：表示可能
×：表示不可

親画面 ＼ 子画面	HDMI	DVI-D	D-SUB	OPTION*	YPbPr	S-VIDEO	VIDEO
HDMI	×	×	×	×	×	○	○
DVI-D	×	×	×	×	×	○	○
D-SUB	×	×	×	×	×	○	○
OPTION*	×	×	×	×	×	○	○
YPbPr	×	×	×	×	×	○	○
S-VIDEO	○	○	○	○	○	×	×
VIDEO	○	○	○	○	○	×	×

＊ OPTION は、オプションスロットに拡張モジュールを装着した場合のみ設定可能です。

リモコンの「PIP ON ／ OFF」ボタンを押すと、PIP･POP･SIDE BY SIDE（サイドバイサイド）が下図のように切り替わります。
また、OSD のメインメニュー「子画面設定」の子画面モードでも切り替えられます。→ P51



子画面の解像度について

PIP と SIDE BY SIDE フルの解像度は以下のとおりです。

子画面サイズ	PIP SIZE	▷小◁	450 画素 × 338 画素
		▷中◁	675 画素 × 450 画素
		▷大◁	900 画素 × 675 画素
	SIDE BY SIDE フル		960 画素 × 1080 画素

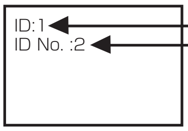
お知らせ

PIP と SIDE BY SIDE フルの場合、子画面は、入力映像のアスペクトにかかわらず、常に上記の子画面サイズにフィットして表示されます。

リモコンナンバリング機能

RS-232C ケーブルで複数台の LDT462V をマルチ接続することにより、1 台のリモコンで希望の 1 台またはすべての LDT462V をコントロールすることができます。

1. モニター ID でマルチ接続された各々の LDT462V へ任意の ID を設定します。
   モニター ID は 1 ～ 26 まで設定することができます。
   先頭から、順番に 1,2,3............. と連続で ID を設定されることを推奨します。
2. 先頭に接続された LDT462V のリモコンモードを PRIMARY に設定し、他は SECONDARY に設定します。
3. PRIMARY に設定した LDT462V のリモコン受光部に向けてリモコンの DISPLAY ボタンを押すと、画面の左上に ID 選択 OSD が表示されます。



自分の ID を表示します。

コントロールしたい液晶ディスプレイの ID をリモコンの+ / −ボタンで選択します。
ID が一致した LDT462V の左上に ID が表示されます。
ALL を選択すると、接続されているすべての LDT462V を制御できます。

4. PRIMARY に設定した LDT462V のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。
   OSD は選択された ID の LDT462V に表示されます。

お 願 い

PRIMARY の LDT462V に ID 選択 OSD が表示されている場合は、もう一度リモコンの DISPLAY ボタンを押して ID 選択 OSD を消してから操作をおこなってください。

お知らせ

リモコンモードを間違って設定しリモコン操作ができなくなったときは、本体背面の操作ボタンを押して OSD 画面を表示し、「アドバンスドオプション」でリモコンモードを変更してください。また、リモコンの DISPLAY ボタンを 5 秒以上連続で押し続けると、リモコンモードを初期設定の NORMAL に戻すことができます。

困ったとき

故障かな？と思ったら

このようなときは	お調べください
画面に何も映らない （映像も音も出ない） ● 電源ランプが点灯しない	● 電源コードを正しく接続していますか。 ● 主電源スイッチは入（ | ）になっていますか。 ● 電源コンセントに電気が正常に供給されているか、別の機器で確認してください。
リモコンで操作できない	● リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ● リモコンの乾電池の ⊕ ⊖が逆に入っていませんか。 ● ディスプレイ本体の受光部に正しく向けていますか。 →P15、P16 ● リモコンモードが設定されていませんか。 →P56
画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある	● 液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯するものがありますのでご了承ください。
画面が暗くなった、ちらつく、表示しなくなった	● OSD 画面が正常に表示される場合は、信号ケーブルが抜けかかっていないか確認してください。 ● 液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、表示しなくなった場合は、新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または「修理相談窓口」 →P65 にご相談ください。
映像は出るが、音は出ない	● 片方のスピーカーから音が出ない場合は、音声入力端子の接続ケーブルが外れていないか、バランスの調節が右または左に片寄っていないかを調べてください。 ● 差し込まれた入力端子と音声入力の設定が異なっていませんか。 ● 消音（MUTE）になっていませんか。 →P13、P15 ● 音量が最小になっていませんか。 ● スピーカーケーブルは外れていませんか。 ● 音声用ケーブルは断線していませんか。 お知らせ ● 音声入力の切り替えは、映像入力ごとに異なった設定が可能です。ただし、S-VIDEO、VIDEO は同一音声となります。
電源ランプが、赤色に点滅している	● 本機の自己診断機能が動作し、異常を検出すると、電源ランプが赤色に点滅します。故障の可能性がありますので、販売店または「修理相談窓口」 →P65 にお問い合わせください。
自動的に電源が切れてしまう	● オフタイマーまたはスケジュール機能が設定されていませんか。 →P54
スケジュール機能で設定したとおりに動作しない	● オフタイマーが設定されていませんか。 →P54 オフタイマーが「ON」に設定されている場合は、スケジュール機能は動作しません。
TILING が動作しない PIP、POP が動作しない （PIP IS NOT AVAILABLE の表示が出る）	● 画面サイズ設定が「CUSTOM」または「REAL」になっていませんか。 ● SIZE ボタン（ →P15 ⓫ボタン）を押して「FULL」または「NORMAL」に変更してください。
PIP、POP の入力切り替えができない	● 選択しようとしている入力の画面サイズ設定が「CUSTOM」または「REAL」になっていませんか。 ● 選択しようとしている入力に切り替えた後、SIZE ボタン（ →P15 ⓫ボタン）を押して「FULL」または「NORMAL」に変更してください。
画面に「警告」が表示された TEMPERATURE WARNING	● 本機の周囲温度 (使用環境温度) が保証範囲を大きく超えた状態になっています。 →P64 故障の原因になりますので、電源を切ってください。

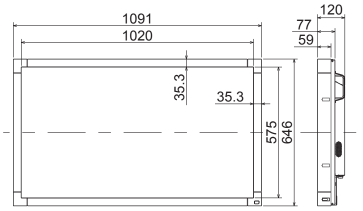
コンピューターを使うとき

このようなときは	お調べください
画面に何も映らない **● 電源ランプが緑色に点灯している**	● OSD 画面でコントラストおよびブライトネスを調節してください。
● 電源ランプの緑色と赤色が同時に点灯している	● パワーマネージメント機能（パワーセーブ）が作動していると、画面が表示されません。キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かしてください。 ● 信号ケーブルを正しく接続していますか。 ● 変換アダプターは正しく接続していますか。 ● コンピューターの電源が「切」になっていませんか。
画面がちらつく	● 分配器を使用していませんか。 コンピューターと直接接続してください。 ● OSD 画面でクロックとクロック位相を調節してください。
表示色がおかしい	● 色温度を調節してください。
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	● 長時間同じ静止画面を表示すると、このような残像が起こることがあります。 電源を切るか、変化する画面を表示していれば、残像は 1 日程度で自然に消えます。 長時間にわたって静止画面を表示すると、残像が消えなくなる場合がありますが、故障ではありません。使用しないときには電源を切ることを推奨します。
画面に「注意」が表示された **● パワーセーブ設定 OFF 時** 注意！ 入力信号がありません 接続を確認してください	● コンピューターの映像出力端子と本機の映像入力端子が信号ケーブルで正しく接続されていますか。 ● 信号ケーブルが断線していませんか。
● パワーセーブ設定 ON 時 注意！ 入力信号がありません 接続を確認してください ↓ **約 5 秒間表示後** パワーセーブ	● コンピューターの映像出力端子と本機の映像入力端子が信号ケーブルで正しく接続されていますか。 ● 信号ケーブルが断線していませんか。 ● パワーマネージメント機能（パワーセーブ）が作動していませんか。 （マウスを動かすか、キーボードのキーを押してください。）
注意！ 入力周波数または解像度の範囲外です 入力周波数または解像度を変更してください	● 本機に適切な信号が入力されているかを確認してください。 **お知らせ** ● コンピューターによっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、左の画面が表示されることがあります。しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号の走査周波数は正常です。 ● 左図のような注意画面が表示されて消えない場合は、コンピューターの設定を本機に適切な入力周波数または解像度へ変更してください。 → P64
映像は出るが、音は出ない	● コンピューターの音声出力設定を正しく選択していますか。不明な場合は、コンピューター OS のヘルプで、サウンドとオーディオデバイスの設定方法を確認してください。

拡張モジュールを装着しているとき

このようなときは	お調べください
画面にメッセージが表示された ● OPS 対応コンピューター装着時 PROCEEDING OPS MODULE POWER ON...	● コンピューターが起動中です。本機の電源は切らないでください。故障ではありません。映像入力を［OPTION］に切り替えて、コンピューターが起動するまでお待ちください。
OPTION ERROR	● 一定時間内（1 分程度）にコンピューターが起動しませんでした。ご使用のコンピューターの取扱説明書を参照ください。
PROCEEDING OPS MODULE POWER OFF... DO NOT AC POWER OFF NOW!	● コンピューターが電源「切」（シャットダウン）の処理中です。本機の主電源スイッチを切らないでください。また、ブレーカーなどの AC 電源を切らないでください。

仕様

形名			LDT462V
外形寸法（mm）			
液晶パネル	サイズ（表示サイズ）		46 型（116.8 cm）
	液晶方式		VA
	有効表示領域		1018.1（H）× 572.7（V）mm
	表示画素数		1920 × 1080
	画素ピッチ		0.530 mm
	表示色		約 1677 万色
	視野角		左右 178°、上下 178°（コントラスト比 10）
	輝度（標準値）		400 cd/m^2
	コントラスト比		4000：1
	応答速度		6.5 ms（GTG ※1）
PC 入出力	PC 入力コネクター	デジタル	HDMI（PC ／ビデオ共通）、DVI-D（HDCP 対応 ※2、PC ／ビデオ共通）
		アナログ	ミニ D-SUB15 ピン
	PC 出力コネクター	アナログ	ミニ D-SUB15 ピン
	水平周波数		15.625 ／ 15.734、31.5 ～ 91.1 kHz
	垂直周波数		50 ／ 58 ～ 85 Hz
	画素周波数		デジタル：25.0 ～ 165.0 MHz、アナログ：13.5 ～ 165.0 MHz
	同期信号	デジタル	TMDS
		アナログ	セパレート同期信号（TTL）、コンポジット同期信号（TTL）、シンクオングリーン
	対応解像度		640 × 480 ／ 800 × 600 ／ 1024 × 768 ／ 1280×768 ／ 1360×768 ／ 1280 × 1024 ／ 1600 × 1200 ／ 1920×1080 ／ 1920×1200（1600 × 1200 ／ 1920 × 1200 は簡易圧縮表示）
ビデオ入出力	ビデオ入力コネクター	デジタル	HDMI（PC ／ビデオ共通）、DVI-D（HDCP 対応 ※2、PC ／ビデオ共通）、SDI（オプション）
		アナログ	コンポジットビデオ< BNC >、S 端子、コンポーネントビデオ< BNC × 3（Y・Pb・Pr）>
	ビデオ出力コネクター	デジタル	SDI（オプション）
		アナログ	コンポジットビデオ< BNC >
	対応解像度		コンポジット信号、S 端子：NTSC ／ PAL ／ SECAM ／ 4.43 NTSC ／ PAL60 コンポーネント信号：480i ／ 480p ／ 576i ／ 576p ／ 1080i ／ 720p ／ 1080p SDI 信号：480i ／ 576i（SD-SDI）、720p ／ 1080i（HD-SDI）、1080p（3G-SDI）
オプションスロット	スロットインターフェース		デジタル（OPS）スロット
スピーカー	内蔵スピーカー		音声出力　10 W ＋ 10 W（ステレオ）
音声入出力	音声入力コネクター	デジタル	HDMI、SDI（オプション）
		アナログ	RCA ピンジャック・L ／ R × 2、φ 3.5 mm ステレオミニジャック（PC 音声）
	音声出力コネクター	デジタル	SDI（オプション）
		アナログ	RCA ピンジャック・L ／ R
	外部スピーカー出力		スピーカー端子・L ／ R（インピーダンス 8 Ω）、音声出力　10 W ＋ 10 W（ステレオ）
制御入出力	制御入力コネクター		RS-232C 入力< D-SUB9 ピン>、LAN< モジュラー 8 ピン >
	制御出力コネクター		RS-232C 出力< D-SUB9 ピン>
	通信方式		RS-232C 規格準拠、10BASE-T/100BASE-TX（LAN）
適合法規格等	安全		電気用品安全法（S-TÜV マーク）
	不要輻射		VCCI-A、JIS C 61000-3-2
	省エネルギー基準		国際エネルギースタープログラム
	プラグ＆プレイ		VESA DDC2B
	その他		PC グリーンラベル（★★☆ 2011 年度版）、J-Moss グリーンマーク、グリーン購入法、DDC/CI、Windows ® 7
使用環境条件	温度※3		横置きの場合：5℃～ 40℃、縦置きの場合：5℃～ 35℃
	湿度		20 ～ 80%（結露のないこと）
保管環境条件	温度		-20℃～ 60℃
	湿度		10 ～ 90%（結露のないこと）
電源	電源入力		AC100 − 240 V、50 ／ 60 Hz
	電源電流		2.2 A@100 − 120 V、1.0 A@220 − 240 V
	消費電力	標準	217 W（オプションスロット、スピーカー未使用時参考値：164 W）
		省エネモード	スリープモード時　：1 W 以下 ※4 オフモード時　　：1 W 以下 ※4、主電源切時：0 W
	電源入力コネクター		3P IEC タイプ
質量／寸法	ディスプレイ本体		約 24.9 kg ／ 1091（W）× 646（H）× 120（D）mm
	梱包状態		約 33.6 kg ／ 1285（W）× 885（H）× 275（D）mm

お知らせ

※ 1　GTG：Gray to Gray、特定階調レベル間（例：0、63、127、191、255）の各応答速度の平均値です。
※ 2　Macintosh での HDCP 対応は非サポートです。
※ 3　長くご使用していただくためには、周囲温度 25℃前後でのご使用を推奨します。ディスプレイの上下逆さまや上向き、下向きでの使用については保証しておりません。
※ 4　AC 電源 100 V 時

重要なお知らせ

保証とアフターサービス

- この製品には保証書を添付しています。
  保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
  内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。
  修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。
  日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
  This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

技術相談窓口（携帯電話・PHS通話可／IP電話不可）	修理相談窓口（携帯電話・PHS通話可／IP電話不可）
フリーダイヤル 0120-71-3322	フリーダイヤル 0120-08-1460
受付時間　土・日・祝日を除く　午前9:00 ～ 12:00　午後1:00 ～ 5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

アフターサービスを依頼される場合は、次の内容をご連絡ください。

- **お名前**
- **ご住所（付近の目標など）**
- **電話番号**
- **品名：三菱液晶ディスプレイ**
- **形名：LDT462V**
- **製造番号（本機背面のラベルに記載）**
- **故障の症状、状況など（できるだけ詳しく）**
- **使用状況**
  （PCおよびグラフィックボード（メーカー，形名）、解像度、入力信号（アナログ，デジタル）など）
- **購入年月日または使用年数**

- 無料出張サービス規定
  この製品をお買い上げから 1 年間は「修理相談窓口」にてディスプレイに起因する障害で修理が必要と判断された場合、無料出張サービスを適用します。その際、同梱の保証書の提示をお願いします。提示がない場合は、保証期間中でも有料となります。出張サービスは、日本国内のみ対応します。代替セット（現品とは異なる場合があります。）を無料でお貸しし、現品の持ち帰り修理になります。一部の地域で宅配業者の引き取りサービスになる場合があります。

個人情報の取り扱い

- お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
  三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
  1. お問い合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
  2. 上記利用目的のために、お問い合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
  3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
     ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
     ②法令等の定める規定に基づく場合。
  4. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

当社の使用済みディスプレイのリサイクルシステムの詳細については下記の当社ホームページをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment

なお、資源有効利用促進法に基づく当社の使用済みディスプレイのリサイクルのお問い合わせは下記へお願いします。

情報機器リサイクルセンター	
家庭系（個人ユーザー様）の窓口	**事業系（法人ユーザー様）の窓口**
TEL 03-3455-6107 www.pc-eco.jp	TEL 03-3455-6106 www.diarcs.com
受付時間　土・日・祝日を除く　午前9:00 ～午後5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

ディスプレイの回収・リサイクル

資源有効利用促進法に基づき、家庭から出される使用済みディスプレイの回収・リサイクルをおこなう“PC リサイクル”が2003 年 10 月より開始されました。当社ではこれを受け、回収・リサイクル体制を構築し、2003 年 10 月 1 日より受付しております。2003 年 10 月以降購入されたディスプレイのうち、銘板に“PC リサイクル”が表示されている製品は、ご家庭からの排出時、当社所定の手続きにより新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。

長くご使用いただくために

液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には寿命があり、バックライトの明るさは使用時間に応じて低下します。また、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面が残る「残像」という現象が発生する場合があります。残像は画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えにくくなります。本機を長くご使用いただくために、次の点にご注意ください。

● 使用していないときは、本機の電源を切ってください。
　1）本機またはリモコンの電源ボタンで電源を切ってください。
　2）パワーセーブ機能 → P52 を「ON」にしてください。
　　信号が入力されないときに自動的にスリープモードへ切り替わります。工場出荷時は「ON」に設定されています。
　3）スケジュール機能 → P54 を使用して、使用する時間に合わせて自動的に電源を入／切してください。

　　お知らせ

　　スケジュール機能を使用する場合は、必ず日付／時刻設定 → P54 をおこなってください。

● 液晶パネルにかかる負担を軽減するために、スクリーンセーバー機能 → P52 を使用してください。

さくいん

A～Z

INPUT ボタン ………………… 13, 15
LAN ………………………… 30, 45
OPS 対応コンピューター …………… 28
OSD 画面の構成 …………………… 46
OSD の基本操作 …………………… 47
PIP、POP 機能 …………………… 59
RS-232C …………………… 29, 43
SDI ………………………………… 27

あ

アドバンスドオプション…………… 55
アフターサービス…………………… 65
安全のために必ずお守りください………7
インフォメーション OSD ……… 54, 57
映像設定…………………………… 48
オーディオ設定…………………… 51
音声入力切替……………………… 58

か

外形寸法…………………………… 64
拡張モジュール…………………… 27
各部のはたらき…………………… 13
画素ピッチ………………………… 64
画面設定…………………………… 50
乾電池…………………………5, 9, 16
子画面設定………………………… 51
困ったとき………………………… 61
コントロールロックモード………… 57

さ

質量………………………………… 64
視野角……………………………… 64
主電源スイッチ…………………… 14
仕様………………………………… 64
使用環境条件……………………… 64
詳細設定 1 ………………………… 52
詳細設定 2 ………………………… 53
消費電力…………………………… 64
信号ケーブル………………………5
垂直周波数………………………… 64
水平周波数………………………… 64
スケジュールの設定・操作方法について‥ 42
スタンド…………………………… 19
スピーカー……………………21, 39
接続………………………………… 22
設置………………………………… 18

た

適合規格…………………………… 64
電源コード……………………… 5, 31
電源ボタン……………………13, 15
電源ランプ………………………… 13
特長…………………………………3

な

入力コネクター…………………… 64

は

パワーマネージメント機能………… 34
ピクチャーサイズ…………………… 57
ピクチャーモード…………………… 57
表示画素数………………………… 64
表示サイズ………………………… 64
付属品の確認………………………5
保証書…………………………… 5, 65
本機を廃棄するには……………… 66
本体の操作ボタン・スイッチ・ランプ… 13
本体背面の入出力コネクター……… 14

ら

リモコン……………………5, 15, 16
冷却ファン……………………18, 52

三菱電機株式会社
本　社　　〒100-8310　東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）

Printed in China
AW-P1155A